

提出議題

議決事項

第一号議案	令和7年度	決算報告（案）及び監査報告		別冊
第二号議案	令和8年度	改選役員及び推薦委員選出		10
第三号議案	令和9年度	日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出		11

報告事項

報告事項1	令和7年度	事業報告		12
報告事項2	令和8年度	事業計画		69
報告事項3	令和8年度	収支予算書		別冊

第一号議案 令和7年度 決算報告（案）及び監査報告

（別 冊）

第二号議案 令和８年度 改選役員及び推薦委員選出

役員・推薦委員の任期満了に伴い、定款及び細則に基づき、役員・推薦委員の選出を求める。

○令和８年度 役員候補者

役 職	氏 名	任 期	所 属	職 種
会 長	原 田 美 佐	2	山口県看護協会	看護師
第一副会長	安 永 彰 子	2	岩国市医療センター医師会病院	看護師
第三副会長	大 平 光 子	2	周南公立大学	助産師
理 事	塩 道 敦 子	2	山口大学医学部附属病院	助産師
理 事	小 林 順 子	2	周東総合病院	看護師
理 事	西 村 綾 子	2	徳山中央病院	看護師
理 事	久 光 寿 代	2	山口県立総合医療センター	看護師
理 事	藤 井 和 美	2	柴田病院	看護師
理 事	児 玉 悦 子	2	宇部リハビリテーション病院	看護師
理 事	山 本 浩 子	2	美祢市立病院	看護師
理 事	三 村 晶 子	2	萩慈生病院	看護師
理 事	岩 本 なお子	2	山口県済生会豊浦病院	看護師
理 事	堀 越 政 美	4	山口県司法書士会	司法書士
監 事	軍 神 弘 美	2	安岡病院	助産師

○令和８年度 推薦委員候補者

委員名	氏 名	任 期	所 属	職 種
推薦委員	福 重 奈 月	1	山口県周南児童相談所	保健師
	吉 本 有美子	1	下関市健康増進課	保健師
	山 本 恵美子	1	岩国病院	助産師
	藤 井 奈々子	1	山口支部（個人会員）	助産師
	重 山 佳 代	1	光市立光総合病院	看護師
	篠 原 慶 子	1	小郡第一総合病院	看護師
	永 尾 恵	1	長門総合病院	看護師

第三号議案 令和9年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出

日本看護協会定款並びに定款細則では、都道府県看護協会に委託して代議員及び予備代議員の選出をすることとなっている。

山口県看護協会の定数は各10人であるので、代議員10人と予備代議員10人の選出について提案する。

なお、予備代議員は、代議員が欠けた場合、代議員の員数を欠くことになる場合、これに充てることとし、代議員は、令和9年度日本看護協会総会で議決権を行使する。

○令和9年度 日本看護協会代議員候補者

No.	氏 名	職 種	所 属
1	大 平 光 子	助産師	周南公立大学
2	林 直 美	保健師	萩健康福祉センター
3	小 林 順 子	看護師	周東総合病院
4	鈴 川 実 紀	准看護師	安岡病院
5	西 村 綾 子	看護師	徳山中央病院
6	久 光 寿 代	看護師	山口県立総合医療センター
7	藤 井 和 美	看護師	柴田病院
8	児 玉 悦 子	看護師	宇部リハビリテーション病院
9	山 本 浩 子	看護師	美祢市立病院
10	三 村 晶 子	看護師	萩慈生病院

○令和9年度 日本看護協会予備代議員候補者

No.	氏 名	職 種	所 属
1	菊 池 実 代	保健師	山口県看護協会
2	塩 道 敦 子	助産師	山口大学医学部附属病院
3	田 中 純 子	看護師	山口県看護協会
4	吉 原 雅	准看護師	光輝病院
5	露 繁 巧 江	看護師	萩慈生病院
6	安 永 彰 子	看護師	岩国市医療センター医師会病院
7	服 部 有 希	看護師	国立病院機構 山口宇部医療センター
8	宮 本 慶 克	看護師	国立病院機構 岩国医療センター
9	松 井 由美子	看護師	周防大島町立大島病院
10	田 島 真由美	看護師	山口県立総合医療センター

報告事項 1 令和 7 年度 事業報告

○令和 7 年度重点方針 5 項目の概要

I 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

子ども・子育て世代、障がい者、高齢者など全世代の住民を対象として、地域における看護力の強化と連携に取り組むこととしている。

とりわけ訪問看護は、在宅療養支援の要となるサービスであり、昨年度から関係機関との連携のもと、当看護協会内に「山口県訪問看護総合支援センター」を設置し、訪問看護提供体制の強化を図る拠点となるよう、訪問看護ステーションのための運営・経営に関する相談や、訪問看護師の人材育成等に取り組んできた。

また、全支部において、「在宅療養支援のための看護職連携推進研修」を実施し、病院・訪問看護ステーション・施設・行政等さまざまな立場の看護職で構成する検討会を実施し、全医療圏域の地域の課題に応じた研修を企画立案・実施している。

II 看護職の確保と定着の促進

本県では、地域や就業場所による看護職の偏在が顕著で、看護職の確保は継続した課題であることから、当協会内の山口県ナースセンターを中心に、確保と定着のための事業を実施している。

このため令和 7 年度新規事業「地域の実情に応じた看護職確保推進事業」においては、「セカンドキャリア人材バンク（きらめきナース）」の周知を図るとともに、看護の専門性発揮のため、看護補助者との協働を推進できるよう看護補助者の確保定着に向けた広報や研修に取り組んだ。

III 看護の質の向上と生涯学習支援

看護職が変化する社会のニーズにあわせて継続的に自己研鑽できるよう、一般教育研修や看護師職能委員会 I で「生涯学習支援に関する研修」等、目的に応じたさまざまな研修会の開催に取り組んだ。

また、重点事業として、看護の専門性を十分に発揮し、安定的で質を確保した看護の提供のため、「認定看護師等活躍推進事業」に取り組んだ。今年度は専門看護師・認定看護師がその専門性を活かし地域で活躍するために、有資格者の活動内容をアピールするための媒体を作成し、自分たちの強みを可視化するとともに、特定行為研修修了者に対しては施設内での活動状況を共有する研修会を実施した。看護管理者を対象としては、「認定看護師等活躍推進事業」の内容の理解とともに、これからの山口県における看護のありたい姿を描く交流会を実施した。

IV 組織力の強化

組織力強化の広報活動として、入会促進に向け、看護師等学校養成所や会員減少施設等への訪問を重点的に実施し、入会案内とともに、看護の日キャラクター「かんごちゃん」グッズを作成し、卒業記念品として贈呈した。また、定期的に入会促進活動についての協議の場を設け、会員確保への意識を高めた。SNS（LINE）によるスピーディーな情報発信と、友だち登録の増加に取り組んだ。

V 地域における健康危機管理体制の強化

新災害支援ナースの養成研修と修了者のリスト管理、ステップアップ研修会を開催することにより、平時からの災害支援体制の整備に取り組んだ。

また、行政との健康危機管理体制強化のための協働に努めた。

定款第 4 条の 8 つの事業に沿った事業

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項	
(1)一般教育研修の実施	看護実践能力養成研修会 30コマ31日開催 受講者 2,124人
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 105時間 20日間 R7.10.23～12.24 修了生75人 ②認定看護管理者教育課程セカンドレベル 180時間 32日間 R7.4.18～9.6 修了生45人 ③フォローアップ研修 ファーストレベル R7.7.10 セカンドレベル R8.3.13
(3)新人看護職員研修事業 (県委託)	①検討会 2回開催 ②研修責任者研修 4日間 受講者22人 ③教育担当者研修 6日間 受講者46人 ④実地指導者研修 5日間 受講者67人
(4)助産実践能力向上事業 (県委託)	①新人助産師研修 新人19人、6日間(R7.8.9、9.7、12.20、R8.1.17、1.31、 2.7)実施 公開講座として6講座実施 受講者 R7.8.9 17人(午前講座) 14人(午後講座)、9.7 4人 12.20 6人、R8.1.17 6人、R8.1.31 4人 ②中堅助産師研修 2日間で4講座開催(R7.11.15、12.6) 4講座ともCLOCMiPレベルⅢ認証研修とする 1回目 R7.11.15 22人 2回目 R7.11.15 20人 3回目 R7.12.6 26人 4回目 R7.12.6 27人
(5)実習指導強化推進事業 (県委託)	①検討会 2回開催(R7.5.20、11.6) ②実習指導者養成講習会 33日 修了者35人 ③実習指導者と看護教員の相互研修 2日 受講者27人 ③実習指導アドバイザー派遣 2施設 計4回
(6)看護職員認知症対応力向上研修(県委託)	①検討会 3回開催(R7.5.30、10.3、1.23) ②看護職員認知症対応力向上研修 3日間 前期(R7.7.12、7.18、7.25) 受講者48人 修了者47人 後期(R7.11.22、11.28、12.5) 受講者44人 修了者42人
(7)JNA提供オンデマンド研修	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 3回 計6日 第1回(R7.6.13、14) 受講者56人 修了者55人 第2回(R7.6.20、21) 受講者56人 修了者55人 第3回(R7.9.5、6) 受講者55人 修了者52人
(8)その他の研修	①看護補助者活用推進のための看護管理者研修2回 修了者142人 ②外来における在宅療養支援能力向上のための研修 R8.1.15 修了者29人

事業項目	主な事業内容
(9)委員会	①教育委員会 8回開催 ②認定看護管理者教育運営委員会 4回開催
(10)日本看護協会との連携	全国看護基礎教育担当者会議 R8.3.10
2)医療安全推進事業	
(1)医療安全管理者の養成および実践能力向上のための研修	①医療安全管理者養成研修 日本看護協会インターネット配信研修35時間 集合研修5時間 R7.11.12 修了者39人 ②医療安全管理者スキルアップ研修 2回 第1回(R7.4.7)受講者22人 第2回(R7.12.6)受講者39人
(2)医療安全推進事業	医療安全啓発 ・医療安全情報 会報「きらめき」掲載 ・医療事故調査制度等を施設管理者へ情報提供 ・「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の啓発・普及活用促進
(3)医療安全管理体制の構築・充実	①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援 圏域代表との意見、情報交換会の開催 R7.10.9 参加者36人 ②医療安全管理者情報交換会の開催 R7.6.18 参加者36人
(4)看護職賠償責任保険の加入促進	看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・実習を伴う講習会受講者への加入促進
(5)委員会	医療安全推進委員会 6回 内、1回は圏域代表を招聘しての会議 R7.10.9
(6)日本看護協会との連携	医療事故調査制度に関する情報交換会への参加 1回
3)学会等学術振興に関する事業	
(1)山口県看護研究学会開催	第25回山口県看護研究学会 R8.3.7開催 テーマ「看護の未来を築くー生涯学習で育む知識と実践ー」 口演発表9題、示説発表2題 一般参加90人、学生56人
(2)委員会	学会委員会 6回
(3)日本看護協会との連携	日本看護学会
4)図書室運営に関する事業	
(1)図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 雑誌・書籍等受入 定期購読雑誌・学会誌(16タイトル):142冊 書籍:73冊 冊子:29冊 ビデオ・DVD:0本 ②図書貸出 書籍貸出:166件

事業項目	主な事業内容
(2)日本看護協会との連携	③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌) 山口県看護研究学会論文集・集録・抄録集の文献複写依頼：0件 医学中央雑誌へ文献複写依頼：2件 ④図書室利用者：139人 岩国：3人 柳井：5人 周南：42人 防府：17人 山口：20人 宇部：17人 小野田：0人 長門：4人 萩：10人 下関：17人 会員外(非会員・学生)：4人 ①譲渡図書の受入 ②最新看護索引Web機関版の利用 ③都道府県看護協会図書室担当者研修(Web開催) R7.10.7

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容																
1)ナースセンター事業 (1)ナースセンター運営協議会 (県委託) (2)無料職業紹介 (県委託)	協議会開催 1回 ①第7次NCCS(ナースセンター・コンピューター・システム)の運用 ・求人・求職相談件数 <table><tr><td>求人</td><td>求職者</td><td>合計</td></tr><tr><td>3,629</td><td>1,241</td><td>4,870</td></tr></table> ・求人・求職・就職者数 <table><tr><td>求人</td><td>求職者</td><td>就職者</td><td>就職率(%)</td><td>求人倍率</td></tr><tr><td>6,388</td><td>632</td><td>49</td><td>7.8</td><td>10.11</td></tr></table> ・看護職員、看護補助者の無料職業紹介 ・求人施設・求職者の登録 ・求人・求職情報の更新、情報提供 ・求職者に対する相談 ・NuPS(看護職のためのポータルサイト)の運用、周知 ※Nupsの運用開始は2026年秋以降に延期 ②ナースセンター・ハローワーク連携事業 ・連携事業連絡調整会議 2回 R7.6.30、R8.2.27 ・ナースセンター・ハローワーク連携事業の具体的な実施方法の一部改正を受けて労働局と協議 R8.1.29 ③その他 ・事業の広報 各ハローワークへ事業説明(10ヶ所) ナースセンターだよりの発行、協会ホームページ、県ホームページ、やまぐちナースネット、市町広報、メディア等 (3)再チャレンジ研修 (県委託)	求人	求職者	合計	3,629	1,241	4,870	求人	求職者	就職者	就職率(%)	求人倍率	6,388	632	49	7.8	10.11
求人	求職者	合計															
3,629	1,241	4,870															
求人	求職者	就職者	就職率(%)	求人倍率													
6,388	632	49	7.8	10.11													
	①再就業支援研修(地域施設研修) ・研修協力施設 23施設 ・募集期間 R7.5～ R8.3上旬 ・研修開催 随時実施 ・研修期間 3～5日程度																

事業項目	主な事業内容																								
(4)就業コーディネーターの配置 (県委託)	・地域別受講状況10人(光市1、周南市1、山口市3、宇部市1、山陽小野田市1、下関市3) ・資格別研修受講状況(保健師2、看護師7、准看護師1) ②未就業看護職対象教育研修(集合研修)3回 参加者6人 ③調整会議 1回 ④広報 チラシ作成 ハローワーク、行政機関、図書館等に配布 ①ハローワークでの出張相談、就業支援 ・岩国、柳井、下松、徳山、山口、防府、宇部、長門、萩、下関のハローワークで実施 ・5月より各会場で月1回実施(柳井、下松、長門 隔月1回) R7.5.1～ R8.3.31 相談件数 145件 実人数 99人 会場別相談件数 <table><tr><th>会場</th><th>岩国</th><th>柳井</th><th>下松</th><th>徳山</th><th>防府</th><th>山口</th><th>宇部</th><th>長門</th><th>萩</th><th>下関</th><th>合計</th></tr><tr><td>相談</td><td>13</td><td>1</td><td>5</td><td>30</td><td>8</td><td>42</td><td>22</td><td>8</td><td>7</td><td>9</td><td>145</td></tr></table> ②再就業にあたり看護技術等の再修得を希望する者に対する研修調整 ③求人施設等への訪問による相談支援 ④広報：チラシ作成 ハローワーク、行政機関、図書館等に配布 ⑤調整会議 3回開催	会場	岩国	柳井	下松	徳山	防府	山口	宇部	長門	萩	下関	合計	相談	13	1	5	30	8	42	22	8	7	9	145
会場	岩国	柳井	下松	徳山	防府	山口	宇部	長門	萩	下関	合計														
相談	13	1	5	30	8	42	22	8	7	9	145														
(5)ナースのお悩み相談室 (県委託)	①ナースセンターでの相談件数 延べ109件 来所：20件、電話：31件、メール：58件 <table><tr><th>内容</th><th>求人求職</th><th>心の相談</th><th>職場環境</th><th>研修進学</th><th>定着</th><th>その他</th></tr><tr><td></td><td>41</td><td>62</td><td>66</td><td>7</td><td>2</td><td>14</td></tr></table> ②広報：チラシ作成配布(ハローワーク他)	内容	求人求職	心の相談	職場環境	研修進学	定着	その他		41	62	66	7	2	14										
内容	求人求職	心の相談	職場環境	研修進学	定着	その他																			
	41	62	66	7	2	14																			
(6)看護師等就業協力員の育成 (県委託)	①看護師等就業協力員研修会の開催 R7.6.17 参加者21人 ②就業協力員の活動として学校訪問への支援																								
(7)演習器材の貸出 (県委託)	①器材の貸出 ・対象：看護職員を配置する施設、貸出器材8種 貸出件数 <table><tr><th>器材名</th><th>件数</th></tr><tr><td>万能型成人実習モデル</td><td>0</td></tr><tr><td>呼吸音聴取シミュレーター</td><td>4</td></tr><tr><td>吸引シミュレーター</td><td>7</td></tr><tr><td>採血・静脈シミュレーター</td><td>11</td></tr><tr><td>装着式採血静脈練習キット</td><td>8</td></tr><tr><td>上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター</td><td>2</td></tr><tr><td>導尿・浣腸シミュレーター男性</td><td>9</td></tr><tr><td>導尿・浣腸シミュレーター女性</td><td>9</td></tr><tr><td>合計</td><td>50</td></tr></table>	器材名	件数	万能型成人実習モデル	0	呼吸音聴取シミュレーター	4	吸引シミュレーター	7	採血・静脈シミュレーター	11	装着式採血静脈練習キット	8	上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター	2	導尿・浣腸シミュレーター男性	9	導尿・浣腸シミュレーター女性	9	合計	50				
器材名	件数																								
万能型成人実習モデル	0																								
呼吸音聴取シミュレーター	4																								
吸引シミュレーター	7																								
採血・静脈シミュレーター	11																								
装着式採血静脈練習キット	8																								
上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター	2																								
導尿・浣腸シミュレーター男性	9																								
導尿・浣腸シミュレーター女性	9																								
合計	50																								

事業項目	主な事業内容												
(8)離職者・未就業者届出サポート(県委託)	②個人の技術演習 ・対象：技術演習の希望者 ・演習日：4回/月(毎週金曜日) ・演習項目：採血・注射・吸引・心肺蘇生など 演習内容別参加状況 R7.5～ R8.3												
	<table><tr><td>内容</td><td>採血・点滴</td><td>吸引</td><td>心肺蘇生</td><td>合計</td></tr><tr><td>件数</td><td>20</td><td>4</td><td>4</td><td>28</td></tr></table>	内容	採血・点滴	吸引	心肺蘇生	合計	件数	20	4	4	28		
	内容	採血・点滴	吸引	心肺蘇生	合計								
	件数	20	4	4	28								
	③広報 チラシ作成 1,500枚配布												
	①届出について病院との連携体制の整備・強化												
	②届出制度の広報 ナースセンターのご案内：会員施設、看護学生、研修生等に配布 はたさば：看護学校養成所等30機関へ送付 防災セット作成:届出者へ配布 届出票作成：会員施設、看護学生等に配布												
	③相談対応、登録サポート 届出実績230件												
	④届出者への情報提供 現状把握82人、復職支援の案内等送付212人												
	(9)看護職員再就業支援相談会(県委託)	①相談会の開催 県内8会場 (ハローワークと合同開催) ・対象：再就業を希望する者 ・参加施設：医療機関、訪問看護ステーション、介護施設等 ・新しい取組：看護技術演習(採血)を相談会場で実施											
②相談会のあり方検討会2回													
③看護補助者の説明会・研修会等													
④ハローワークとの連携強化													
(10)プレナース発掘事業(県委託)		①看護PRリーフレットの作成・配布 看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成配布											
		<table><tr><td>配布先</td><td>配布枚数</td></tr><tr><td>県内の中学校(151校)・高校(86校)</td><td>33,500</td></tr><tr><td>県内各病院、看護師等学校・県および市町等の関係機関</td><td>1,200</td></tr><tr><td>看護の魅力発見、看護のPR事業(進路相談)</td><td>1,300</td></tr></table>	配布先	配布枚数	県内の中学校(151校)・高校(86校)	33,500	県内各病院、看護師等学校・県および市町等の関係機関	1,200	看護の魅力発見、看護のPR事業(進路相談)	1,300			
		配布先	配布枚数										
		県内の中学校(151校)・高校(86校)	33,500										
		県内各病院、看護師等学校・県および市町等の関係機関	1,200										
		看護の魅力発見、看護のPR事業(進路相談)	1,300										
	②1日ナース体験 内容：施設見学、模擬看護体験、看護職員との交流 対象：中学生、高校生 期間：夏休み期間 施設：参加協力施設61施設 参加者：中学生143人、高校生216人												
	③看護の魅力発見 開催状況												
	<table><tr><td></td><td>周南地域</td><td>山口地域</td><td>下関地域</td></tr><tr><td>協力病院</td><td>徳山中央病院</td><td>済生会湯田温泉病院</td><td>済生会下関総合病院</td></tr><tr><td>開催日</td><td>R7.8.23</td><td>R7.10.4</td><td>R7.11.16</td></tr></table>		周南地域	山口地域	下関地域	協力病院	徳山中央病院	済生会湯田温泉病院	済生会下関総合病院	開催日	R7.8.23	R7.10.4	R7.11.16
		周南地域	山口地域	下関地域									
協力病院	徳山中央病院	済生会湯田温泉病院	済生会下関総合病院										
開催日	R7.8.23	R7.10.4	R7.11.16										
対象：小学生、中学生、高校生、保護者、看護に興味がある人 内容：ワークショップ、ミニナース体験、看護の進路相談													

事業項目	主な事業内容
	実行委員会の開催2回(R7.8.5、11.27) ④看護職員の学校訪問 対象：中学生、高校生やその進路指導を行う教員等 内容：・看護の仕事や看護職となるための方法について普及啓発 ・次世代ナース確保の重要性に関する講話 ・職業講話 訪問件数：27件
(11)会議等への出席	①職業紹介責任者講習(全国民営職業紹介事業協会)1人 ②山口県医療機関就職ガイダンス R7.8.14 ③山口県看護職員確保対策協議会 R8.3.16
(12)日本看護協会との連携	①都道府県ナースセンター事業担当者情報交換会3回 ②都道府県ナースセンター長会議1回 ③都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会中国・四国ブロック(ワーキンググループ)1回 ④都道府県ナースセンター事業説明会1回 ⑤都道府県ナースセンター相談員研修(中央ナースセンター)1回 ⑥都道府県担当者及び都道府県ナースセンター担当者説明会1回
2)働き続けられる職場づくり推進事業	
(1)働き続けられる職場づくりの啓発・支援	①労働環境支援委員会 4回 ②看護職員就労定着支援事業 研修会1回 R8.1.16 働き続けられる職場づくり研修会 受講者 54人
(2)日本看護協会との連携	都道府県看護協会看護労働担当学会議 R7.7.17
(3)医療勤務環境改善に関するアドバイザー派遣業務(県委託)	医療勤務環境改善支援センターからの依頼を受け、支援対象機関に働き方等に関するアドバイザーを派遣 0件
3)新地域の実情に応じた看護職確保推進事業(日本看護協会委託)	
(1)セカンドキャリア活躍推進事業	①「セカンドキャリア人材バンク」の充実(キャリア相談等) 「きらめきナース」活躍推進 R7新規登録8人(累計35人) 「きらめきナース」活動支援 再就業2人 講師、救護、協会イベント等派遣・支援17件 ②求人施設の開拓 施設訪問22件、60歳以上新規求人(再雇用含)282件 ③セカンドキャリア支援研修会・交流会等 ・看護のしごと、会社説明会 1回 ハローワーク防府との共催 「年金定期便を知ろう！自分の年金をシミュレートし、生活設計を立てよう！」参加者13人 ・令和7年働き方・セカンドキャリア等活躍推進研修会R7.12.10 受講者18人

事業項目	主な事業内容																				
(2)看護補助者の確保定着に向けた取組	①広報 チラシ配布(各ハローワーク) 労働局、ハローワークに事業説明のため訪問 看護管理者による学校訪問1校 ②説明会・個別相談会の開催状況 <table><tr><td></td><td>ハローワーク下関</td><td>ハローワーク防府</td><td>ハローワーク宇部</td></tr><tr><td>開催日</td><td>R7.7.29</td><td>R7.9.9</td><td>R7.9.19</td></tr><tr><td>参加者(人)</td><td>10</td><td>13</td><td>27</td></tr><tr><td>看護補助者</td><td>3</td><td>3</td><td>15</td></tr><tr><td>受講者</td><td>2</td><td>0</td><td>4※</td></tr></table> ※ハローワーク宇部会場でオンデマンド研修視聴者 4人 ③看護補助者の就業に向けた研修 受講修了者10人 (オンデマンド9人、来所1人) 就業者5人		ハローワーク下関	ハローワーク防府	ハローワーク宇部	開催日	R7.7.29	R7.9.9	R7.9.19	参加者(人)	10	13	27	看護補助者	3	3	15	受講者	2	0	4※
	ハローワーク下関	ハローワーク防府	ハローワーク宇部																		
開催日	R7.7.29	R7.9.9	R7.9.19																		
参加者(人)	10	13	27																		
看護補助者	3	3	15																		
受講者	2	0	4※																		
(3)看護学生・潜在看護職を対象としたN u P Sの周知	①広報 ②学校訪問(看護大学・養成所等)20校 資料配布8校																				
4)看護職員メンタルサポート事業	①メンタルヘルス相談 (ストレスコーチング) 対面、電話、ZOOMによるリモート面接 相談者 実10人 延10人 ②看護管理者メンタルヘルス研修会R7.7.23 受講者22人 ③出張による個別相談および施設内研修 1施設 R7.10.23 受講者29人、個別相談1人 ④メンタルヘルス相談(ストレスコーチング)周知 チラシの作成・配布およびホームページ掲載・LINE発信																				

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護業務の質の向上に関する事業	
(1)保健師職能委員会	①保健師職能委員会 6回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 2回 ④地区別保健師職能委員長会 1回
ア 保健師の連携強化及びネットワークの構築	①保健師職能集会の開催 R7.7.5 26人 ②保健師職能交流会の開催 R8.2.21 39人 ③支部委員との連携強化としての合同会議を開催し情報交換 ④ひたむきな保健師取材、会報「きらめき」掲載 3回 ⑤ホームページ、会報「きらめき」による情報発信
イ 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進	①研修会・交流会の実施 R8.2.21 ②一般教育研修計画への参画

事業項目	主な事業内容
ウ 会員増加の推進	①保健師職能集会や交流会の開催 ②リーフレット、会員勧誘チラシ改訂版の活用 ③ホームページ、会報による情報発信
(2)助産師職能委員会	①助産師職能委員会 6回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 2回 ④地区別助産師職能委員長会 1回
ア 周産期医療の現状と課題の把握	①職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 ②中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 ③保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出
イ 助産実践能力向上事業 (県委託)	①新人助産師研修の企画・運営・評価 ②助産実践能力向上中堅助産師研修の企画・運営・評価 ③CLoCMiPレベルⅢ認証研修の導入・活用推進
ウ 母子のための地域包括病棟の推進	ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営の推進
エ 災害時の対応	周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてタイムリーな情報提供・情報交換
オ 広報活動	①イベント等での助産師の普及活動 ・看護の日・国際助産師の日 ・いいお産の日 ・ホームページ等へ記事投稿 ②PRリーフレットの活用
カ 3職能4委員会との連携強化	①母子のための地域包括ケアシステムの深化に向けての、ネットワークの構築 ②地域における看護力強化に向けた連携推進のための検討会への参加 ③女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握
(3)看護師職能委員会 I	①看護師職能委員会 I 9回 ②支部看護師職能委員 I との合同会議 2回 ③看護師職能委員会 II との合同会議 4回 ④全国看護師職能委員長会 I 2回 ⑤地区別看護師職能委員長会 I 1回
ア 看護実践能力の向上	看護職の生涯学習支援の推進に向けた活動 ・看護職の生涯学習支援に関する研修会の開催 看護職の生涯学習支援に関する情報交換会 R7.8.30受講者39人
イ 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携と継続看護の推進	①在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取組 在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の合同会議 1回 ②看護師職能委員会 II との連携強化 合同会議の開催による情報交換、情報共有

事業項目	主な事業内容
ウ 支部看護師職能Ⅰ委員との連携強化	①支部活動の理解と把握及び情報共有 支部職能委員との合同会議 ②地区別看護師職能委員長会Ⅰの課題について意見集約
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
オ 日本看護協会との連携	①全国看護師職能委員長会Ⅰ 2回 ②地区別看護師職能委員長会Ⅰ 1回
(4)看護師職能委員会Ⅱ	①看護師職能委員会Ⅱ 9回 ②支部看護師職能委員Ⅱとの合同会議 2回 ③看護師職能委員会Ⅰとの合同会議 4回 ④全国看護師職能委員長会Ⅱ 2回 ⑤地区別看護師職能委員長会Ⅱ 1回
ア 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進	介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座) R7.9～11月 山口県内の介護施設15施設 受講者268人(介護職154人、看護職49人、その他65人)
イ 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約	①看護師職能Ⅱ交流会 R8.2.28 参加者21人 ②全国看護師職能委員長会Ⅱ 2回 ③地区別看護師職能委員長会Ⅱ 1回 ④看護師職能Ⅱ領域の看護職のマネジメントに関する現状調査と課題抽出 介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホームを対象に実施したアンケート調査の結果を分析して課題を抽出し、その課題を踏まえて今後の委員会活動について検討
ウ 3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化	①3職能4委員会及び在宅ケア推進委員会との合同会議 1回 ②看護師職能委員会Ⅰとの合同会議 4回 ③支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議 2回
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
(5)職能集会	①保健師職能集会 1回 R7.7.5 参加者：26人 ②助産師職能集会 1回 R7.7.5 参加者：19人 ③看護師職能集会 1回 R7.7.2 参加者：62人
(6)看護制度委員会	看護制度委員会 5回
ア 准看護師の資質向上とキャリア形成の推進	①准看護師のスキルアップに繋げていけるような研修会の企画運営 ②看護師養成課程への進学や利用できる制度に関する情報提供 准看護師スキルアップ研修1回 R7.8.7 受講者24人
イ 看護基礎教育を考える会の開催	看護基礎教育の現状や課題について、理解を深めるための研修会を開催 看護師基礎教育を考える会1回 R7.11.1 受講者20人

事業項目	主な事業内容
ウ 看護専門領域の資格者の地域貢献活動連携強化	認定看護師等活躍推進事業検討会と連携し、看護専門領域の資格取得者が活動する上での課題を共有する
エ 日本看護協会との連携	全国看護基礎教育担当役員会議 1回
オ 広報活動	会報「きらめき」、協会ホームページへの活用、広報・活動報告
(7)助産師出向支援導入事業 (県委託)	①助産師出向支援の実施(2事例) 研修期間：R7.5.20、6.2～6.30、7.4 研修期間：R7.9.29、11.4～12.3、12.5 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催 第1回 R7.7.10 第2回 R8.2.26 ③助産師出向に関する調査の実施 期間：R7.9.12～10.17 調査対象：県内分娩取扱25施設 回答：19施設(回答率76%) ④助産師出向支援導入事業研修会の開催 R8.1.24 参加者28人 内容：助産師出向支援導入事業の概要 R6年度の出向事業報告 講演「安全な無痛分娩の提供のために」 講師 徳山中央病院 医長 榎部真央子氏 ⑤島根県助産師出向支援事業報告会に参加 ⑥事業の普及・啓発目的で施設訪問 病院：R8.3.16 診療所：R8.3.23
(8)認定看護師等活躍推進事業 (県委託)	①研修会の開催 専門・認定看護師研修会 R7.6.14 受講者22人、6.21受講者14人 特定行為研修修了者研修会 R7.10.11 受講者15人 看護管理者交流会 R7.12.13 受講者24人 ②専門・認定看護師等の派遣システム準備中

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)訪問看護提供体制推進事業 (県委託)	
(1)施策推進体制の確立	①山口県訪問看護推進協議会 R8.3.12 ②訪問看護提供体制推進検討会を設置し、センターの運営に関すること、教育に関することを検討 ・訪問看護総合支援センター運営に関する検討会 3回 ・訪問看護総合支援センター教育関係(研修会等)に関する検討会 3回
(2)専門職による相談対応	訪問看護事業所開設者や管理者等を対象とした相談窓口を設置 ・事業所の開設、運営、人材確保・育成、労務管理に係る相談対応 相談件数37件 うち7件専門職へ対応依頼(キャンセル含む)

事業項目	主な事業内容
(3)訪問看護師育成支援 ア 訪問看護師の看護実践能力の向上	①訪問看護入門研修の企画・実施 集合研修 R7.10.21 訪問看護ステーション実習 R7.11.4～11.28の間の1日 受講者26人 ②訪問看護研修ステップ1(訪問看護初任者研修) 5～12月 訪問看護eラーニングに集合研修8日間、実習3日間を組みあわせて実施 受講者：19人 うち修了者17人 ③中堅者、管理者対象研修(訪問看護師スキルアップ研修)の企画・実施 ・R7.6.21 受講者31人 ・R7.9.20 受講者30人 ・R8.1.17 受講者32人 管理者対象研修 ・R7.10.18 受講者14人 ・R8.2.7 受講者43人
イ 看護職間の相互理解、連携強化の取り組み	①訪問看護研修ステップ1の公開講座 R7.6.19 受講者21人 ②訪問看護入門研修 受講者26人 ③訪問看護実践研修への参画、提言
(4)人材の確保	①ナースセンターと連携した人材確保の促進 ・潜在看護師、プラチナナース等の就業促進 ・若手看護師確保に向けた取組の実施 ・離職防止対策の検討 ②研修をととした訪問看護師の確保 ・訪問看護入門研修の開催
(5)山口県訪問看護実態調査	訪問看護に関する実態調査により、県内の訪問看護の実態把握と課題の抽出 ・山口県訪問看護ステーション協議会支部役員会等でインタビュー調査実施11月～2月
2)地域連携における看護の機能強化事業	
(1)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (県委託 訪問看護師実践研修を含む)	支部圏域の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設の看護管理者、地域連携担当者、訪問看護事業所管理者、地域包括支援センター保健師、行政保健師、居宅介護支援事業所等の相談関係機関担当者等による検討会を設置 ①検討会の開催 2回 ②研修会・交流会等の開催 1回
(2)在宅ケアの推進	①在宅ケア推進委員会 5回 ②在宅ケア推進委員会と3職能4委員会意見交換会 R7.12.19
ア 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み	①情報提供書の書き方ガイドの作成 ・介護支援専門員からの意見聴取 R7.10.17 ・活用方法について3職能4委員会意見交換会にて意見聴取 ②職能委員会、常任委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業との情報提供、意見交換を目的とした会議の開催

事業項目	主な事業内容
イ 在宅ケアに係る看護の実践能力の向上および連携推進 (3)日本看護協会及び関係団体との連携 3)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営	・在宅ケア推進委員会と3職能4委員会意見交換会の開催 ①山口県訪問看護推進協議会の委員として出席 ②情報提供、意見交換を目的とした3職能4委員会との会議の開催 ①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②関係団体との連携協力 ③訪問看護連絡協議会合同会議 R7.11.13 ①経営目標に基づく安定した事業の実施 ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 緊急電話相談 ほうふ：58件 とくち：114件 ひかり：62件 緊急訪問 ほうふ：37件 とくち：59件 ひかり：20件 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催2回 ②質の高い訪問看護サービスの提供 ・BCP訓練・研修 年1回(感染・災害) ・ハラスメント委員会・研修 年1回 ・高齢者虐待防止委員会・研修 年1回 ・感染症予防(標準予防策の徹底) ・訪問看護サミット2026への参加 ・日本看護学会在宅看護への参加 ・サービス向上を目的とした課題の検討 - カンファレンスを週1回開催・研修への参加 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ひかり：受診介助53件 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上)R7.7月実施 ・サービスの質の自己評価実施 ・管理者会議の開催10回 ③訪問看護に関わる関連団体との協力 ・訪問看護総合支援センターとの連携 ・看護学生などの実習受け入れ ほうふ：山口県立大学 3人 YIC看護福祉専門学校 4人 日本医療学園附属東亜看護学院 7人 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 2人 訪問看護研修ステップ1 1人 ひかり：徳山看護専門学校 9人 訪問看護研修ステップ1 2人 ・関係団体との連絡調整・会議 - 退院前カンファレンス・サービス担当者会議に適宜出席 ・市町・社会福祉協議会・難病ネットワーク・地域ケア会議などへの参加

事業項目	主な事業内容
ほうふ：地域ケア会議に毎月参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ほうふ：イタコト展で啓発活動 ・訪問看護振興財団他団体との連携 ④広報活動 ・協会ホームページ ・訪問看護PRチラシ配布 ほうふ・ひかり：新規利用者にチラシ配布 ひかり：新規利用者に説明時使用 4)健康相談・啓発等の事業 (1)「まちの保健室」活動の実施 (2)「国際助産師の日」活動支援 (3)がん総合相談窓口の設置 (県委託) (4)関係機関との連携による県民の健康に関する普及啓発 5)災害支援ナース活動支援体制整備事業 (1)災害支援ナースの養成および資質向上のための支援 (県委託) (2)災害支援活動体制の整備、充実	ほうふ：地域ケア会議に毎月参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ほうふ：イタコト展で啓発活動 ・訪問看護振興財団他団体との連携 ④広報活動 ・協会ホームページ ・訪問看護PRチラシ配布 ほうふ・ひかり：新規利用者にチラシ配布 ひかり：新規利用者に説明時使用 ①各支部の「まちの保健室」担当学会議の開催 R7.10.8 ②普及啓発グッズの配布 ③健康フェア等への出展 ④関係機関との連携推進 ①各支部助産師職能活動支援(リーフレット作成、物品整備) ①相談窓口の設置 相談件数： 101件 がんに関する相談： 95件、その他： 6件 ②看護職による相談支援 他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援 後援：市民公開講座「すべての人に知ってほしい“がん情報”」 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025やまぐち ピンクリボンinやまぐち2025 ③がん相談支援スキルアップ研修会参加 2025年度がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)：1人 ④相談窓口の積極的な利用促進に向けての広報活動 新聞広告掲載(朝日、毎日、読売)：各1回 地域情報誌(ほっふ、サンデー)：各2回 チラシ等配布 循環器病対策県民フォーラム参加 R7.10.25 ①災害支援ナース養成研修会開催 1回 e-ラーニング(オンデマンド研修)20時間 + 集合研修2日間 R7.9～ e-ラーニング開始、集合研修(R7.12.17～18) 修了者54人 ②災害支援ステップアップ研修 R7.11.5 受講者39人 ③災害支援ナースの登録・変更(県・日本看護協会) 養成研修修了者54人について報告 ④災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動 ①災害支援ナースの活動体制の整備・充実 医療法・感染症法改正後の災害支援派遣要綱等の改定

事業項目	主な事業内容
(3)平常時の防災活動の推進	②災害支援活動に関する資機材の整備 ③災害支援ナース指導者の育成 企画・指導者研修R8.2月受講 ①山口県総合防災訓練等への参加 R7.5.25 災害支援ナースの活動に関するパネル展示、手指消毒・胸骨圧迫体験 ②災害支援物品の整備
(4)日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働	①都道府県看護協会健康危機管理担当学会議 R7.12.17 ②行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携
(5)委員会	災害支援委員会 6回
6)「看護の日」及び「看護の心」PR事業	
(1)看護の日・看護週間行事開催	①2025年度「看護の日・看護週間」イベント開催 R7.5.11 パブリックビューイング開催 参加者6人 山口県立総合医療センター「すまいるフェスタ」に共催 ②看護の日・看護週間 会員施設で開催 41施設 参加者5,921人 ③ふれあい看護体験(学生等対象)会員施設で開催 R7.5～9月 13施設 参加者111人 ④「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布やポスターの掲示
(2)看護のPR	①やまぐち未来のしごとフェスタ R7.12.16～17 参加29校、参加者374人 ②みらいWalker★UBE出展 R7.11.12～13 参加12校 参加者190人 ③県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち R7.12.18 参加者104人 ④やまぐちJOBフェスタ R7.10.25 264人

5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

(公益事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1)日本看護協会との連携強化事業 (1)諸会議への出席	①通常総会 R7.6.11 ②理事会 4回 ③法人委員会 3回 ④代議員研修会 R7.5.24 ⑤都道府県看護協会政策責任者会議 R7.9.18 ⑥会員情報管理情報交換会 R7.7.30 ⑦都道府県看護協会広報担当役員会議 R7.11.19 ⑧看護サミット R8.2.5 ⑨全国職能別交流集会 R7.6.12 ⑩全国職能委員長会 R7.8.1、R8.3.6 ⑪地区別職能委員長会 R7.10.30 ⑫訪問看護連絡協議会合同会議 R7.11.13 ⑬ナースセンター事業担当者会議 R7.4.16 ⑭看護基礎教育担当役員会議 R8.2.10

事業項目	主な事業内容
(2)日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	⑮都道府県看護協会健康危機管理担当学会議 R7.12.17 ⑯都道府県看護協会看護労働担当学会議 R7.7.17 ⑰医療事故調査に制度に関する情報交換会 R7.11.11 ⑱都道府県看護協会教育担当役員会議 R7.9.10 ⑲都道府県看護協会図書室担当者研修会 R7.10.7 詳細については各事業計画を参照

6 施設の貸与に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)研修会館の貸与事業 (1)公益目的使用への施設の貸与	本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し、会議室等を低廉な料金で賃貸

7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業

(収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)福利・厚生事業	①名誉会員制の継続 ②各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③山口県看護協会会長表彰及び特別会長表彰の実施 ④傷病見舞、罹災見舞、休業見舞、死亡弔慰金等の支給 ⑤会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥レジャー施設等優待、割引

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益事業／収益等事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護職への支援事業 (1)相談支援センター活動推進	相談支援センターの運営 4件
2)支部活動事業 (1)支部活動の推進	①支部活動の運営(※公益/収益等/法人) ②支部運営会議による協議
3)組織運営に関する事業 (1)適正な財産運営	①健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営

事業項目	主な事業内容
(2)各種事業運営	①通常総会(※法人) R7.6.28 ②理事会(※法人) 7回 常務理事会(※法人) 3回 監査会(※法人) 2回 ③その他事業(各種会議)(※法人) ・支部運営会議 3回 ・推薦委員会(※法人) 2回 ・県・支部推薦委員会会議(※法人) 各1回
(3)看護政策推進のための組織強化事業	①地域の政策力強化(※法人) ・認定看護管理者会への参加 ・看護職員就業施設訪問 ・看護管理者会議によるネットワーク強化 ②看護協会入会促進 ・入会促進用パンフレットの配布等による周知活動 看護学校・訪問看護ステーション・福祉介護施設等 ・看護学校訪問 入学式・戴帽式・卒業式等 ・看護学校卒業生への啓発活動
4)広報活動事業 (1)広報活動	①会報「きらめき」発行(※公益/収益等) ・年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ配布 ・委員会活動、支部活動、ナースセンター等情報を掲載 ②ホームページの更新、活用(※公益/収益等) ・研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター、訪問看護総合支援センター情報等を掲載 ③SNS(LINE)による情報発信
(2)各種情報提供	①会員増加の推進(※収益等/法人) ・会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・「山口県看護協会入会のご案内」等を入会希望施設や未入会施設に配布 ②タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人) ・通郵便 月1回印刷物等配布 ・SNS(LINE)
5)他団体との連携 (1)看護教育機関との連携	①入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人) ②見学・実習の受け入れ(※公益) ③卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人)
(2)看護関連政策の推進	①要望・事業提案(※法人) ・行政機関、公益社団法人日本看護協会等 ・山口県看護連盟との連携 合同研修会開催 R8.2.14 「少子高齢化社会の看護政策」 受講者112人
(3)他団体との共催行事	①医療関係団体新年互例会(※法人)R8.1.10 ②研修会等の後援 ③研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載

令和7年度 一般教育研修実績報告

【新人研修】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
新人看護職員集合研修Ⅰ 新人看護職の皆さんへ ～先輩からのメッセージ～	5／22(木)	97	50	47
新人看護職員集合研修Ⅱ ～楽しくいきいきと働くための コミュニケーションスキル～	9／25(木)	55	35	20

【看護研究】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
看護研究の進め方(概要編)	5／17(土)	78	72	6
量的研究の進め方 ～統計手法とデータ分析～	7／3(木) 7／4(金)	37	37	0

【看護管理】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
【オンライン研修】事例で学ぶ 困った行動への対応方法	6／12(木)	37	34	3
悩み解決！世代間GAP 新世代の理解と効果的な指導法	5／31(土)	43	42	1
事例を通して学ぶ 看護補助者との協働	10／9(木)	49	45	4
心理的安全性を高め働きやすい職場を作ろう	9／12(金)	61	56	5

【自己教育】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
現場で活かせる 相手に伝わる文章の書き方	8／21(木)	62	61	1
信頼関係を築く接遇 ～一流の接遇とは、気配りができる人になるために～	6／4(水)	79	77	2
ストレスマネジメントの実践 ～ストレスとのしなやかな付き合い方～	8／27(水)	56	53	3

看護実践能力【ニーズをとらえる力】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
臨床推論の基礎	7／26(土)	64	58	6
臨床推論の実践	8／23(土)	45	42	3
【オンライン研修】 あらためて学んで活かす栄養管理の基礎 ～経静脈栄養と経腸栄養～	10／15(水)	35	35	0
ナースのための心電図教室 心電図の基礎知識	7／19(土)	133	118	15

看護実践能力【ケアする力】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
改めて学ぶ感染対策 感染拡大防止と薬剤耐性の基本	6 / 18(水)	50	37	13
摂食嚥下ケアの基本 ～患者さんの食べたい気持ちに寄り添う～	8 / 28(木)	61	54	7
心不全の看護	9 / 30(火)	95	88	7
身体拘束に頼らない認知症ケア	10 / 17(金)	166	156	10
これでわかる！糖尿病看護 ～セルフケア継続に向けた支援と連携～	12 / 4(木)	51	43	8
発達障害 理解と関わり方のヒント	11 / 15(土)	61	57	4
急変対応1 見逃してはいけない 急変兆候と対応	10 / 1(水)	90	84	6
急変対応2 演習で学ぶ急変兆候の見方と対応	11 / 21(金)	24	20	4

看護実践能力【協働する力】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
事例で学ぶ Safety-II の活用方法	8 / 1(金)	57	53	4
看護師が知っておきたい社会資源の基礎	9 / 19(金)	136	130	6
【オンライン研修】倫理的課題解決に向けた 多職種カンファレンスのあり方	11 / 8(土)	50	49	1
災害支援についての理解 ～災害支援ナース新制度と活動の実際～	7 / 8(火)	72	64	8

看護実践能力【意思決定を支える力】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
ACP 意思決定を支えるコミュニケーション	11 / 26(水)	81	79	2
人生の最終段階を迎える人への寄り添い方	12 / 9(火)	128	121	7

リクエスト枠

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
アドラー心理学 活用術 ～悩み解決、人生を豊かに過ごすために～	10 / 22(水)	71	67	4

令和7年度 支部事業報告

岩国支部事業報告

支部長 宮本慶克

活動目標	1)地域包括ケアシステムの深化・推進を図るための地域における看護力の強化と連携 2)地域における健康増進活動の推進
評価と今後の課題	・教育研修や職能研修を通して、地域の各看護職種間での情報共有や連携強化につなげることができた。 ・まちの保健室では市の行事とタイアップすることで多くの住民の健康チェックや健康相談に応じることができ、がん検診の啓発にも寄与することができた。 ・次年度は今年度の活動評価を踏まえて各活動の充実を図っていきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)教育研修：R7.7.12岩国支部集会後の研修会 「人生会議って何？ 自分の人生会議をしてみよう！」 行政・病院・がん看護専門看護師、それぞれの立場から人生会議(ACP)についての講話；参加者62人 (2)職能研修：岩国市医師会コ・メディカル研修会 日時：R7.11.20 場所：岩国市医療センター医師会病院東館4階講堂 「ときどき入院。ほば在宅、最後はどうする…？」 事例検討・GW 参加者69人 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会 開催担当 柳井支部 日時：R8.2.7 場所：周東総合病院 発表：10演題(岩国支部3演題) 参加者114人(岩国支部37人)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけ
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事を各施設で開催 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催2回 ①岩国まつりR7.10.19(来場者延べ84人) ②岩国市地域包括ケアR8.2.8(来場者延べ219人) (2)国際助産師の日事業 未実施 (3)進路相談 各施設で実施 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会：3回 研修会：R7.11.20 職能研修会と共催
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)看護職交流会：R7.9.6日 場所：サンライフ岩国 看護職の心の健康維持への取組「卓球」 参加者19人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席(支部長他) ・岩国看護管理者ネットワーク会議2回、岩国市地域包括ケア推進協議会2回、地域医療支援病院審議委員会1回、岩国医療圏地域医療構想調整会議2回、岩国市地域感染症対策連絡協議会1回 (2)看護学校入学・卒業式祝電 2)支部集会：R7.7.12(出席者52人 委任状307人) 3)支部役員会・職能委員会・教育委員会6回

柳井支部事業報告

支部長 松井由美子

活動目標	1.地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2.支部活動を通して、親睦、情報交換の場とする
評価と今後の課題	1)支部集会、一般教育研修の参加者を68人以上に増加させる取組を行う。 2)3支部合同看護マネジメント研究会の参加者は123人で、R6年度より30人多かった。保健師16人、助産師2人、介護福祉士1人の参加があった。アンケート結果より講演内容は、大変良かった60%、良かった34%であった。また、大変役立つ50%、役立つ48%であった。自由記載では、「身近で実践的なテーマが多く、非常に勉強になった」「多職種・行政・地域包括ケアに関する発表が有意義だった」という意見が多数あった。本研究会は今後も開催する意義がある。 3)まちの保健室は、行政と連携して地域のイベントや祭りで実施した。次年度は認定看護師(認知症看護認定看護師・摂食嚥下障害看護認定看護師等)に依頼し、まちの保健室に相談コーナーを設置していきたい。 4)「柳井支部訪問看護ステーション等の見学実習」では、各実習生が実習目的を達成し、多くの学びと気づきを得ることができた。特に病院と在宅での違いを目の当たりにし、退院支援の重要性を再認識できた。10月から意向調査を実施してマッチングを行い1月末までに実習を終了することは時間的に無理があるため、次年度は年度初めより意向調査を実施し、より多くの看護師が実習できるよう取組みたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 R7.7.5 周東総合病院にて開催 参加者68人 講演会テーマ:「認知症の関わり方とACP」 講師:周防大島町立大島病院 認知症看護認定看護師 屋敷葉子 2)第6回3支部合同看護マネジメント研究会(柳井支部主催) R8.2.7周東総合病院にて開催 参加者123人(柳井支部45人) 演題10(柳井・岩国各3題、周南4題)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業参加への働きかけを行った。
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催は各施設で状況に応じて実施した。 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室 ※行政と連携して地域のイベントや祭りで実施 R7.4.6たぶせ桜まつり(参加者117人)、R7.7.26市民公開講座(参加者44人)、R7.8.13柳井きんぎょちょうちん祭り(参加者44人) (2)国際助産師の日事業 各施設で状況に応じて実施 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (検討会9/25・2/12に実施) 「柳井支部訪問看護ステーション等の見学実習」を要項に添って実施した。訪問看護ステーション4事業所、地域包括支援センター3事業所にて病院の看護師8人(R6年度より3人増)が実習した。
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)会員確保のための取り組み、表彰候補者の推薦 支部役員会及び在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会にて呼びかけを行った。今後も呼びかけを継続する。
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)地域会議への出席 (柳井医療圏地域医療構想調整会議2回、柳井市高齢者保健福祉推進協議会1回) 2)看護学校3校(柳井学園高等学校、平生看護専門学校、大島看護専門学校)に入学式・卒業式の祝電を打った。 3)支部集会をR7.7.5に開催した。(出席者68人・委任状338人、406人/517人) 4)支部役員会・支部委員会は6回開催した。 5)広報活動 ①県協会会報「きらめき」163号への投稿を行った。

周南支部事業報告

支部長 伊藤友里代

活動目標	1)地域における看護職の連携強化と看護力の向上 2)看護の質の向上と組織力の強化
評価と今後の課題	今年度も参加型の研修会や交流会等を開催した。地域の看護職が共通の課題を共有し、実践に役立つ知識や事例を学び合う機会を設けることで、互いの専門性を高める場となった。また、意見交換を通じて、地域全体での連携体制の強化や、より良い看護提供に向けた具体的な取り組みの方向性を確認することができた。今後も支部活動を通して看護職間の交流が活発に行われ、地域の看護職の連携強化に寄与できればと考える。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ①教育研修会1回 受講者83人②職能研修会1回 受講者29人 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会 開催担当：柳井支部 日時：R8.2.7 3支部参加者123人 うち周南支部参加者41人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり ①県協会労働環境支援委員会の研修参加への呼びかけ
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)各施設で日時を決定して実施、ポスター掲示及びグッズの配布 2)健康相談・啓蒙活動の事業 (1)まちの保健室2回 参加者472人 (2)国際助産師の日事業 ①イベント「いいお産の日」1回 参加者248人 (3)進路相談 ①各施設で実施 (4)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ①検討会3回 ②研修会1回 R7.10.18 参加者50人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)会員への福祉厚生等に関する事業 (1)表彰候補の推薦 (2)山口県優良看護職員知事表彰の推薦 2)その他事業 (1)管理者交流会1回 R8.1.24 参加者34人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部集会1回 R7.7.5 出席者42人 委任状提出者1586人 2)支部役員会4回 3)支部委員会 (1)職能委員会6回 (2)教育委員会6回 (3)推薦委員会1回 (4)選挙管理委員会1回 4)広報活動 (1)県協会報「きらめき」へ投稿 (2)県協会ホームページへ投稿 5)地域会議への出席 (1)周南医療圏地域医療構想調整会議2回 (2)あ・うんネット周南ワーキング会議3回 研修会3回 等

防府支部事業報告

支部長 山本知美

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化と看護力の向上 2) 地域における健康増進活動の推進
評価と今後の課題	上記目標のもと、本年度は研修会や地域活動を実施した。 研修では会員の関心に沿ったテーマを取り上げ、専門知識の向上や情報共有、看護職連携の機会とした。地域活動では、看護の日や国際助産師のイベント、まちの保健室を開催し、地域住民の健康意識の向上や母子保健への理解促進に努めた。 今後も引き続き、研修や地域行事への参加を継続し、多職種との連携強化、広報活動の充実に努めていく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 教育委員会・職能委員会 支部研修1回 R7.12.6 スキンテアの予防と管理
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ (2) 看護職の人材確保・就業支援 ① 病院紹介や進路・就業相談 ② 看護学校と情報交換を行い市内への就業促進を行う
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1) 看護の日及び看護週間行事の開催 ① R7.5.11 県立総合医療センターでのイベントでリーフレットやグッズ等を設置すると共に、健康相談を行った。 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室開催 ① R7.10.18 アスピラート防府 ② R7.11.15～16 アスピラート防府 (2) 国際助産師の日事業 ① 国際助産師の日イベント R7.11.9 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進の強化事業 (1) 検討会 2回 (2) 研修会 1回 R8.1.31. 地域で患者さんを支える看護職連携 -高度実践看護師としての実践と学び-
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1) 表彰候補者の推薦 2) 支部交流会1回
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1) 支部役員会 5回 2) 支部委員会 (1) 職能委員会 2回 (2) 教育委員会 2回 (3) 推薦委員会 2回 (4) 選挙管理委員会 1回 3) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿 (2) 県協会ホームページへの投稿

山口支部事業報告

支部長 小迫幸恵

活動目標	1)在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携を図る 2)地域活動等を通して、地域住民の健康増進を図る 3)看護職の確保と定着を図る
評価の今後の課題	「一般教育研修」「まちの保健室」は昨年に引き続き開催を計画している。まちの保健室は、今年度は場所を工夫し、さらなる参加者を目指した。今後も皆で協力し支部活動に取り組んでいきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)教育委員会 ①教育委員会企画研修会 1回 日時：R7.11.29(土)9：30～11：00 場所：山口県健康づくりセンター 第1研修室 テーマ：転倒転落防止対策研修会 講師：パラマウント株式会社 杉山良子氏 奥俊介氏 参加者：71人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)看護職の人材確保・就業支援 ①看護学校との情報交換と地域の高校生等への就業支援 ・訪問看護の紹介・一般的な看護師の仕事の内容・認定看護師 施設の動画を作成している。今後の活用について引き続き検討を行う。
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「まちの保健室」実施 (1)おごおり健康まつりに参加 日時：R7.11.3(月・祝)10：00～14：00 場所：小郡総合支所 内容：肌年齢・体脂肪測定・血圧測定・がん検診・健康相談など 参加者：159人 (2)湯田温泉こんこんパークでの開催 日時：R8.3.8(日)9：30～13：00 場所：湯田ゆうゆうパーク 内容：国際助産師の日事業共催(乳幼児身体測定他) 肌年齢・体脂肪測定・血圧測定・がん検診・健康相談など 参加者：37人 2)在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会 (第1回) 日時：R7.12.12(金)18：30～19：30 場所：山口県立大学 内容：R7年度研修会打ち合わせ・準備 (第2回) 日時：R8.3.19(木)18：30～19：30 場所：山口県立大学 内容：今年度の研修振り返り、次年度の活動について (研修会) 日時：R8.1.30(金) テーマ「身寄りのない方への支援～制度のはざまにいる方に焦点を当てて～」 オンライン研修(Zoomウェビナー) 講師：(株)社会福祉相談室 空 代表取締役 池永泰典氏 参加者：154人

4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 講演会(支部集会後) 1回 日時：R7.7.12(土)14：00～15：00 場所：ゆーあいプラザ山口社会福祉会館 4階会議室 テーマ：「怒りを力に変える」 講師：山口県公認心理師協会産業組織領域理事 一般社団法人山口EAPグループ代表理事 公認心理師・臨床心理士 杉浦崇仁 氏
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部組織の強化に関する事業 (1) 支部活動の充実 ① 山口市生活習慣病予防研究会への支援・協力(職能委員) 幹事会議への出席：6回 市民公開講座への支援 コメディカル講演会開催への支援、参加 ② 地域会議への出席：5回(支部長) ③ 看護学校関連事業参加：戴帽式祝電3校・卒業式祝電2校・入学式祝電1校 2) 支部運営に関する事業 (1) 支部役員会 5回 (2) 支部委員会 ① 職能委員会 5回 ② 教育委員会 5回 ③ 推薦委員会 2回 ④ 地域連携推進委員会 5回 ⑤ 選挙管理委員会 5回 3) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿

宇部支部事業報告

支部長 宇多村順子

活動目標	1)全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携 2)地域における健康危機管理体制の強化
評価と今後の課題	一般教育研修、三職能合同研修会は計画通りに実施した。今後もアンケートより参加者の満足度向上に繋がる研修を検討していく。まちの保健室は対面での開催を再開した。今後も地域の人々が安心して健康相談が出来る場所を提供し、地域全体の健康づくりに貢献していきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業（公益事業）	1)一般教育研修 (1)支部教育研修 R7.7.19 テーマ 【そこが知りたい！ リアル認知症看護 ～患者さんも家族も私達も笑顔で過ごせるように～】 講師：宇部リハビリテーション病院 認知症看護認定看護師
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1)看護の日及び看護の心PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)「まちの保健室」 月1回定期 開催 健康相談・特定健診・がん検診等の啓発、パンフレット配布等 3)在宅療養支援のための看護職連携推進強化(小野田支部と合同) (1)検討会開催3回 (2)訪問看護見学実習 令和7年12月実施
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業（収益等事業）	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)三職能合同研修会 R7.10.4 テーマ「自宅でできるストレッチ、健康と美容に向けた筋活のススメ」 講師：独立行政法人国立病院機構 関門医療センター 理学療法士
5 その他本会の目的を達するために必要な事業（公益／収益等／法人）	1)支部役員会 6回/年 2)支部委員会 (1)教育委員会5回 (2)職能委員会5回 (3)推薦委員会2回 (4)選挙管理委員会1回 3)支部集会 R7.7.19 4)広報活動 (1)県協会会報「きらめき」への投稿 5)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 (2)看護学校関連事業参加

小野田支部事業報告

支部長 井上孝子

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化と看護力の向上
評価と今後の課題	教育研修は予定通り行い、内容も好評であった。まちの保健室は、開催場所など検討した。地域の健康増進に役立てるよう今後も活動していく。会員数増加に向けたアピールが足りなかった。在宅療養支援のための看護職連携推進検討会では、多職種の活動を知り連携推進に繋がった。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 一般教育研修(教育委員会主催) (1) R8.2.4「災害発生時の初動対応力を高める」 受講者 116人 (2) R8.7.11支部集会后 「訪問診療」「終末期ケア」予定
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	2) 働き続けられる職場づくり支援 (1) 県協会主催研修等参加を促進 (2) 看護職の就業促進 「まちの保健室」「SOS健康フェスタ」でパンフレット等を配布 各病院で看護学校訪問
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 「看護の日」「看護週間」行事を開催 各施設で実施 2) 「国際助産師の日」「いいお産の日」行事開催は中止 3) 「まちの保健室」開催 R7.9.13 4) 山陽小野田市主催「SOS健康フェスタ」 展示ブース参加 R7.11.16 5) 看護体験実施 各施設で開催 6) 在宅療養支援のための看護職連携推進検討会(宇部市と合同) 検討会 3回 R7.6.27 R7.9.26 R8.2.6 訪問看護ステーション実習実施 3名
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1) 表彰候補者の推薦 2) 支部交流会 中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1) 支部集会 R7.7.19 参加者23人 委任状429人 2) 支部役員会 4回 3) 支部委員会 職能委員会 4回 教育委員会 4回 推薦委員会1回 4) 支部活動の充実 (1) 宇部・小野田医療圏 地域医療構想調整会議等の出席 (2) 看護学校戴帽式・卒業式臨席 5) 広報活動 県協会会報「きらめき」への投稿

長門支部事業報告

支部長 福田真由美

活動目標	1)地域における健康・療養支援体制の強化 2)看護協会支部活動を通じて会員相互の親睦や会員増加を推進する
評価と今後の課題	地域活動、研修を通じて健康増進の普及、人材育成に取り組むことができた。 看護協会を通じて他機関の看護職との親睦の機会を持つことが今後の課題
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 R8.3.19「皮膚トラブルを防ぐために明日からできること」 参加者50人 (2)WEB研修R7.7.25 災害時の医療と看護(管理者編)参加者180人 2)学会等学術振興に関する事業 (1)支部看護研究指導①R7.6.26 ②R7.10.3 (2)看護研究発表会 R8.2.26 参加者94人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 県研修会参加勧奨 2)看護管理者会議 長門市内の病院・施設・行政の看護管理者会議 R8.2.17
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」、看護の日・看護週間で施設毎に実施 2)まちの保健室5回 3)国際助産師の日事業：「助産師まつり」 R7.10.11 参加者100人 4)進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施1回 参加者12人 5)在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会①R7.8.27 ②R8.2.17 研修会R8.1.15「身寄りのない高齢者の支援について」参加者34人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)表彰候補者の推薦
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 12回 (2)看護学校入学式・卒業式臨席 2回 2)支部集会R7.7.17会場：長門市地域医療連携支援センター 2階研修室 3)支部役員会： ①R7.4.30 ②R7.7.17 4)支部委員会 (1)職能委員会 (2)教育委員会 (3)推薦委員会 (4)選挙管理委員会 5)広報活動 (1)県協会報「きらめき」投稿 (2)支部広報誌「ふれあい」の作成 年1回発行

萩支部事業報告

支部長 松谷真由美

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職の連携強化 2)地域活動を通して地域住民に対し看護協会の普及啓発を図り、あわせて健康向上に貢献する
評価と今後の課題	まちの保健室は通常開催とふるさと祭りで実施することができた。 一般教育研修、在宅療養支援のための看護職連携推進研修会、交流会を実施する中で多職種連携がとれた。今後も皆で協力し支部活動に取り組んでいきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)教育委員・職能委員の合同研修会 1回 日 時：R7.12.13(土)13：30～15：00 参加者45人 テーマ：災害時における記録と避難所スクリーニング 講 師：山口大学大学院医学系研究所 救急医学講座 山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター准教授 藤田基氏 会 場：萩市地域医療連携支援センター1階 大会議室
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	働き続けられる環境づくり支援 県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事の開催 2)まちの保健室の開催：萩図書館 4月26日(土)より、原則第4土曜日に萩図書館及び萩ふるさと祭りで実施：10回 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業 (1)検討会4回 (2)研修会3回 4)進路相談 (1)まちの保健室での実施 5)その他の事業 (1)地域行事での救護協力 →萩祭り(R7.8.1～3)：各2人 萩城下町マラソン(R7.12.14)：8人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	支部交流会 日 時：R8.3.1(日)10：00～11：30 参加者25人 内 容：ヨガリラクゼーション 講 師：フィットネスラボタイム フリーインストラクター 戸川 勝也 氏 会 場：萩市地域医療連携支援センター1階 大会議室
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	(1)支部集会開催 R7.7.30(水) (2)支部役員会 5回開催 (3)支部委員会：各委員会で開催

下関支部事業報告

支部長 関野尚子

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う
評価と今後の課題	研修会は、各委員会で計画通りに実施した。極めて高齢化率の高い地域における高齢者看護の実践能力の向上に継続して取組む。まちの保健室の活動でも、健康相談の充実を図り、地域住民の健康維持と増進に向け取組む。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修(教育委員会主催) R7.11.7「安全に食べられる食支援～基礎～」受講者37人 R8.2.21「日々の高齢者ケアを振り返ろう」受講者36人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援 (1)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (2)市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2)R7.5.11「看護の日」イベント、「国際助産師の日」事業、合同開催 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催6回 (2)地域行事での救護協力 全国高等学校総合体育大会10日間 参加者34人 R7.11.2海響マラソン 参加者32人 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会3回 研修会R7.11.28「地域の障害福祉サービスを利用して病院から在宅療養へ移行した看護連携～患者の意思決定を支援する～」受講者67人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)会員への福利厚生 (1)研修会開催(職能委員会主催) R7.11.25「いきいきと働くためのメンタルヘルスケア」受講者42人 (2)研修会・会員交流会開催(職能委員会主催) R8.1.23「アロマとチェアヨガで心も体もリフレッシュ」受講者37人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 (1)支部集会 R7.7.10 出席者102人 委任状1264人 (2)支部役員会 8回 (3)支部委員会 まちの保健室委員会2回、教育委員会4回、職能委員会4回、推薦委員会1回 2)支部組織強化 (1)地域会議への出席 (2)広報活動 県協会報「きらめき」への投稿(10月)

令和7年度 職能委員会活動報告

1 保健師職能委員会

委員長 林直美

1 活動目標	1) 保健師の連携強化及びネットワーク推進 2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3) 会員増加の推進 4) 他職能等との連携強化
2 委員会開催	6回
3 活動内容	1) 保健師の連携強化及びネットワーク推進 (1) 保健師職能集会の開催(R7.7.5) (2) 保健師職能交流会の開催(R8.2.21) (3) 保健師職能委員会の開催(R7.5.24、8.30、10.4、12.11、R8.2.5、2.21) (4) 支部連携として、合同会議の開催(R7.10.4、R8.2.21) (5) 会報「きらめき」やホームページによる情報発信 ① 会報「きらめき」ひたむきな保健師掲載(6、10月、1月号) ② ホームページ：令和7年度助産師・保健師職能合同研修会、保健師職能交流・研修会報告 2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 (1) 研修会及びグループワークの実施(R7.7.5(助産師との合同研修会)) 講演：「母親側の視点から虐待について考える ～ハイリスク妊産婦ケアを通して～」 講師：山口大学大学院医学系研究科精神科神経科助教 野田 稔子氏 活動紹介 防府市こども家庭センター保健師 藤原 聖子氏 グループワーク「気になる妊産婦さんへの支援～ 切れ目のない支援を図るための連携について考えよう～」 (2) 保健師職能研修会の開催(R8.2.21に交流会と同時開催) 講演：保健師活動指針の改正について ～今後の保健師の保健活動と求められる役割～ 講師：公益社団法人日本看護協会常任理事 松本珠実氏 グループワーク：私たち保健師がこれから取り組んでいきたいこと ～どのように取り組んだら良いのか、 取り組むにはどうしたら良いのか考えてみましょう～ (3) 在宅ケア推進委員会及び3職能4委員会との連携強化 ① 在宅ケア推進委員会と3職能4委員会意見交換会(R7.12.19)への参加 ② 専門領域の役割や活動の理解と連携強化のための取組 (4) 全国保健師職能委員長会議及び中四国ブロック保健師職能委員長会議による情報把握及び情報共有 3) 会員増加の推進 (1) 保健師職能集会や交流会の開催 (2) リーフレット・会員勧誘チラシ改訂版の有効活用 (3) 会報やホームページによる情報発信 ① 会報で、ひたむきな保健師を年3回掲載 ② ホームページで職能集会や研修会等の情報発信 (4) 看護職の魅力を発信するイベント「仕事魅力発信フェアinやまぐち」(R7.12.18)への協力

	4) 他職能等との連携強化 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築に向けてネットワークの構築 (1) 3職能4委員会意見交換会の参加日本看護協会との連携 (2) 全国保健師職能委員長会出席 (R7.8.1、R8.3.6) (3) 地区別保健師職能委員長会出席 (R7.10.31)
4 評価と今後の課題	保健師職能集会については、看護職との連携強化の一環として、助産師との合同で研修を開催し、保健師、助産師、看護師計45人が参加した。 昨年度の「精神疾患を呈する妊産婦の支援」の学びを踏まえ、今年度は、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行えるよう「母親側の視点からの虐待予防」について、専門医の講演及びグループワークを行った。 アンケートでは、満足度、理解度共に8割以上と高く、グループワークについても、各地域の看護職の連携強化につながり、直接業務にもつながる有意義な会であった。 また、2月21日に開催した「保健師職能交流・研修会」は、39人参加し、近々改正される予定の「保健師活動指針」をテーマに日本看護協会松本常任理事を講師に迎え、改正のプロセスや2040年を踏まえた保健活動のあり方を学び、改正の内容を正しく理解する貴重な機会となった。 グループワークでは、活発な意見交換となるよう、所属の人口規模や担当業務を中心にグループ分けをする等工夫したことで議論も深まり、アンケートでも満足度は高く、好評であった。 一方、新任期や行政以外の所属の保健師の参加が非常に少なかったため、その要因は何かを考え、周知方法等の再検討が必要であると考えます。 今年度から看護職のウェルビーイングに向けて、委員及び事務局の負担軽減、効率的な委員会活動ができるよう、保健師職能委員会の開催を減らし、web開催を取り入れた。次年度も委員の総意を得て、同様に取り組んでいきたい。 入会促進に関する取組については、支部役員と共に各支部の入会者数等現状を共有し、リーフレットを配布する際は「各会員が自身の言葉で入会のメリットを伝える(言葉を添える)」ことをポイントに、あらゆる機会を通じて入会の声かけ、保健師職能委員の活動紹介を行った。 引き続き、一人でも多くの仲間が増えるよう、より一層入会促進に取り組むと共に、2040年に向けて、住民のいのち・尊厳をまもり支える地域づくりを目指して、さらなる保健師間のネットワークの推進、資質向上、多職種との連携に努めたい。

令和7年度 保健師職能委員会支部活動報告

会員数は令和8年3月末現在

支部	会員数 (保健師)	職能委員会の保健師数	令和7年度支部活動報告		支部活動における課題	協会入会促進活動
			研修・交流会等	まちの保健室	問題点・(今後の取組み) 県職能への要望など	支部で工夫していること、 今後取り組みたいこと
岩国	61	1	【教育研修】 日時：R7.7.12 内容：人生会議ってなに？自分の人生会議をしてみよう！～自分の立場で地域にひろめるために～ 【交流会】 日時：R7.9.6 内容：「卓球で体を動かそう」 【岩国市医師会コ・メディカル研修会】 内容：「ときどき入院。ほほ在宅、最後はどうする・・・？」事例検討・グループワーク 日時：R7.11.20 内容：多職種研修会 【3支部合同看護マネジメント研究会】 日時：R8.2.7	【岩国祭】 日時：R7.10.19 内容：血管年齢測定や肌年齢測定など 【岩国市地域包括ケア推進大会】 日時：R8.2.8 内容：血管年齢測定、骨密度測定、肌年齢測定、物忘れ相談タッチパネルと保健師による健康相談	役員会および支部活動運営に関して、出務回数や行事準備等の役員負担を鑑みると支部活動を増やしていくことが困難であり現状維持とならざるを得ない。	・会員、非会員問わず、交流会実施 ・役員各職場での新規入会の声かけ
柳井	38	1	【講演会】 柳井支部特別講演会 ・日時：R7.7.5 13:00～14:00 ・場所：周東総合病院 ・内容：認知症の関わり方とACP ・講師：周防大島町立大島病院 認知症看護認定看護師 屋敷葉子氏 【3支部合同看護マネジメント研究会】 ・日時：R8.2.7 13:00～16:30 ・場所：周東総合病院 ・テーマ：地域包括ケアシステムで住民の暮らしと意思決定を支える看護・介護連携	①市民公開講座 ・日時：R7.7.26 13:00～13:50 ・内容：血管年齢測定、肌年齢測定、血圧測定、医師相談、ノベルティ配布 ②柳井金魚ちょうちん祭り ・日時：R7.8.13 16:00～18:00 ・内容：血管年齢測定、ちびっこナース服体験、ノベルティ配布	支部活動として、保健師職能に特化した活動等はないため、会員(保健師)のニーズ等を把握しにくい状況がある。	未入会の職員や新規採用職員等に、入会の案内について声かけをしている。
周南	47	1	【研修会】 職能研修会 日時：R7.12.6 10:00～11:30 受講者：29人 場所：スターピアくだまつ 講師：看護師・アロマセラピスト 堀家幸美氏 内容：「香りとともに」～心と身体のセルフケア～	①周南市 日時：R7.10.25 13:00～14:30 場所：周南市文化会館 参加者：延204人 内容：血圧測定、健康相談、リーフレット・グッズ配布、体脂肪測定 ②下松市 日時：R7.11.3 9:30～14:30 場所：ゆめタウン下松 参加者：延248人 内容：肌年齢測定、バルーン配布、展示(いいお産の日PR) ③光市 日時：R7.11.23 10:00～14:00 場所：あいぱーく光 参加者：268人 内容：血管年齢測定、体脂肪測定、血圧測定、健康相談	【まちの保健室活動】 事務局と委員のほか、一般会員の協力を得て、委員の負担が軽減された。看護職間や他団体とのネットワークがひろがる機会としての意識も重要。 【研修会】 様々な専門研修がある中で、支部単位で必要とされているテーマについて検討が必要。 【人材育成】 支部活動の取り組みはないが、各施設が若手、中堅期の人材育成に課題を抱えていることを共有した。	・各施設単位で、入会案内パンフレットや保健師用リーフレットの活用、声かけ等の活動を実施しているが、新任期職員、入会率が低い自治体は、特に入会につながりにくい。協会員が協会入会促進活動を負担に感じている場合もあるため、施設の状況に応じたサポートも必要。 ・令和8年度会員が1名になる自治体がある。施設単位での役員の振り分けは、個人に過重な負担がかかるため検討が必要。

支部	会員数(保健師)	職能委員会の保健師数	令和7年度支部活動報告		支部活動における課題	協会入会促進活動
			研修・交流会等	まちの保健室	問題点・(今後の取組み) 県職能への要望など	支部で工夫していること、 今後取り組みたいこと
防府	41	1	・教育研修会 日時：R7.12.6 講師：藤井梨花子氏 場所：山口県立総合医療センター救急棟2階 テーマ：「スキンケアの予防と管理」 ・在宅療養支援のための看護職連携推進研修 日時：R8.1.31 講師：糖尿病看護認定看護師 中山法子氏 テーマ：「地域で患者さんを支える看護職連携～高度実践看護師としての実践と学び～」	・R7.5.11 「看護の日」イベント（県立総合医療センター） ・R7.10.18 愛情ほうふりーマーケット(アスピラート) ・R7.11.15・16 防府市文化祭(アスピラート2階) 内容：血管年齢測定、体脂肪測定、血圧測定、健康相談、リーフレット・グッズ配布	研修会の集客。土日に設定。各施設での周知やチラシの工夫などの検討が必要。	必要時、リーフレットを用いて入会の声をかける。
山口	106	1	・R7.10.19 山口生活習慣病予防のための市民公開講座(テーマ：糖尿病)に参加。医師や管理栄養士の講義の他、山口支部としては参加者向けの血糖測定、健康相談を実施	R7.11.3 ・会場：小郡保健福祉センター(おごおり健康まつり会場) ・内容：血圧測定、肌年齢測定、健康相談を実施 R8.3.8 ・会場：湯田温泉こんこんパーク ・内容：肌年齢測定、健康相談、赤ちゃん人形抱っこ体験を実施	・特になし	・職場での声かけ、研修会等周知 ・新規採用職員へ入会の勧め
宇部	50	1	【研修会】 令和7年度宇部支部研修会 日時：R7.10.4 内容：「自宅でできるストレッチ～忍び寄るサルコペニア？健康と美容に向けた筋活のススメ～」 講師：NHO関門医療センター 石光雄太氏	・場所：楠こもれびの郷 ・日時：4/14、5/12、6/9、7/14、8/12、9/8、10/14、11/10、12/8(毎月第二月曜日に開催。祝日は翌日火曜日) ・内容：血圧・血管年齢・体脂肪測定・骨密度測定等、健康相談	・特になし	・職場における声掛け。 ・非会員にも活動を知ってもらうために研修会は非会員も対象とした。
小野田	34	1	研修会・交流会の開催はなし	①日時：R7.9.13 10:00～14:30 場所：ザビック美祢店 内容：肌年齢測定、骨密度測定、AGEs測定 ②R7年度 SOS健康フェスタ 日時：R7.11.16 場所：山陽小野田市厚狭地区複合施設 内容：測定(血圧・AGEs・骨密度測定等)、健康相談等	・3職種どの職種、施設も人材不足を感じており、職能委員として役員会、まちの保健室への出務も勤務調整が難しく負担を感じている。コロナ禍をあけて、まちの保健室をコロナ禍以前の回数へ増加、交流会の参加等も毎年検討事項となっているが、役員の負担も考えて、回数の変更は先延ばしになっている。 ・保健師職能単体での研修会、交流会は実施していないため、交流なし。	・新規採用職員への入会案内、研修周知

支部	会員数(保健師)	職能委員会の保健師数	令和7年度支部活動報告		支部活動における課題	協会入会促進活動
			研修・交流会等	まちの保健室	問題点・(今後の取組み) 県職能への要望など	支部で工夫していること、 今後取り組みたいこと
長門	14	1	○在宅療養のための看護職連携推進研修会 日程：R8.1.15 内容：身寄りのない高齢者の支援について ○教育研修① 日程：R7.7.25 17:30～18:30 内容：災害時の医療と看護(管理者編)WEB研修 ○教育研修② 日程：R8.3.19 内容：スキンケア(皮膚損傷)の予防とケア ○看護研究発表会 日程：R8.2.26 17:30～19:00	5回実施 ・R7.10.4 夢未来フェスタ ・R7.10.11 JAフェア ・R7.10.19 みすみふるさと祭り ・R7.11.9 日置ふるさと祭り ・R7.11.12 老人クラブ運動会		支部研修会に協会員以外の職員も参加勧奨 職場での声かけ、看護協会の役割について伝えていく。
萩	31	1	【三職能合同研修会】 (萩支部研修会と合同開催) 日時：R7.12.13 13:00～15:00 内容：災害時における記録と避難所スクリーニング 講師：山口大学大学院医学系研究科 救急医学講座 山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター 准教授 藤田基氏 【在宅療養支援関係者研修・交流会】 日程：①6/17、②9/18、③11/14 内容：話題提供、グループワーク	【定例】 萩市立図書館内で実施 【随時】 萩ふるさとまつりのイベント会場で実施	業務を通じての連携や情報共有はスムーズにできているが、非会員も増えており、職能での交流が課題となっている。引き続き、研修会や交流会を通じて、保健師職能全体での情報共有の場の設定が必要と感じている。3月に保健師職能交流会を検討。	・支部研修会や保健師職能交流会への案内時に非会員へも広く周知。 ・メールや連絡ツールを利用したの情報提供を実施。 ・リーフレットを活用し新規採用職員への入会案内を予定。
下関	45	1	【三職能合同研修会・交流会】 ＜第1回＞ 日時：R7.11.25 18:30～19:30 テーマ：いきいきと働くためのメンタルヘルスケア 講師：ウィングシード株式会社 平井妙子氏 ＜第2回＞ 日時：R8.1.23 18:30～19:30 テーマ：アロマとチェアヨガで心も体もリフレッシュ 講師：一般社団法人メディカルアロマリンパケア協会 大塚裕美氏	まちの保健室(年7回) シーモール：9/6、ゆめシティ：3/7 長府ゆめタウン：11/1 豊田町道の駅：5/11、7/5、1/10 その他イベント：元気ファミリーフェスタ 5/17 ※5/11は、国際助産の日と看護の日の合同イベント ※5/11、7/5、9/6、3/7まちの保健室担当の保健師参加。 (5/11のみ保健師職能委員も参加)	・三職能合同研修会は、看護師職能のテーマが多く、保健師参加はなかった。今年度はリフレッシュに関する内容で、保健師の反応は比較的良かったため、今後もリフレッシュ企画を取り入れてもらえるようにし、非会員にも広く周知していく。 ・加入率の低迷は、継続的な課題。新年度に新規採用職員にリーフレットを配布する等、取組を行いたい。	・12月に入会促進リーフレットを保健師全員に配布。(保健師参集の場を活用して、統括保健師から説明) ・1月に統括保健師から職場メールを介して新規・再加入の勧奨。

2 助産師職能委員会

委員長 塩道敦子

1 活動目標	1) 周産期医療の現状と課題の把握 2) 助産師の活躍推進 3) 母子のための地域包括ケア病棟(母ケア病棟)の推進 4) 災害時の対応 5) 3職能、4委員会との連携強化
2 委員会開催	1) 職能委員会 6回(R7.5.15、7.17、9.18、10.15、11.21、R8.1.30) 2) 支部職能委員との合同会議 2回(R7.10.15、R8.1.30)
3 活動内容	1) 周産期医療の現状と課題の把握 職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出(R7.7.5)開催 2) 助産師の活躍推進 (1) 助産実践能力研修の企画・運営・評価 ① 新人助産師研修6回(R7.8.9、9.7、12.20、R8.1.17、1.31、2.7) ② 中堅助産師研修4回(R7.11.15第1・2回、12.6第3・4回) (2) CLoCMiP®の導入・活用の推進 (3) 助産師出向システムの推進と活用 (4) 広報活動 ① イベント等での助産師の普及活動 a 看護の日・国際助産師の日 b いいお産の日 c ホームページ等へ記事投稿(会報「きらめき」投稿、ホームページ投稿) ② PRリーフレットの活用(助産師紹介リーフレット完成、配布) 3) 母子のための地域包括ケア病棟の推進 ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営推進(支部合同会議で課題共有と情報発信) 4) 災害時の対応 周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてのタイムリーな情報提供、情報交換(支部合同会議で課題共有と情報発信) 5) 3職能、4委員会との連携強化 (1) 母子のための地域包括ケアシステムの深化に向けての、ネットワークの構築 (2) 地域における看護力強化にむけた連携推進のための検討会への参加 (3) 女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握
4 評価と今後の課題	職能委員会と助産師研修会は予定通り開催できた。母ケア病棟の推進・助産師の能力発揮についての活動を中心に、支部職能委員とともに協働し、課題の共有、課題解決に向けた情報提供を行った。重点課題は、混合化におけるユニットマネジメント、助産師の能力発揮であり、注力して取り組んだ。助産師普及活動としては、一般市民向け(小学生から)の広報活動目的に、リーフレット作成し配布した。今後も母子も含めた全世代対応の地域包括ケアシステムの推進のために、3職能、4委員会と連携を図る。

令和7年度 助産師職能委員会活動報告

委員長 塩道敦子

母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム構築のために下記の5つの活動を行った。

【令和7年度助産師職能委員会活動目標】

- 1 周産期医療の現状と課題の把握
- 2 助産師の活躍推進
- 3 母子のための地域包括ケア病棟の推進
- 4 災害時の対応
- 5 3職能、4委員会との連携強化

1 周産期医療の現状と課題の把握

職能委員会（開催：6回）・支部職能委員長合同会議（開催：2回）を活用し情報収集、課題の抽出を行った。さらに、中四国ブロックの職能委員長会議、保健師職能・看護師職能との情報交換を活用し情報収集と共有を行い、委員会活動目標の達成に向け実行した。

2 令和7年度助産師職能集会報告

令和7年7月5日（土）助産師職能集会を開催した。令和7年度山口県職能委員会事業報告、助産実践能力向上研修報告と、令和7年度日本看護協会通常総会、山口県看護協会助産師職能委員会事業計画について報告をし、情報共有を行った。研修会は、令和5年度に続いて助産師・保健師職能合同研修会として、野田稔子先生（山口大学大学院医学系研究科精神科神経科 助教）から「母親側の視点から虐待について考える」をテーマに開催した。交流会では、「気になる妊産婦さんへの支援」で、防府市子ども家庭センター保健師藤原聖子氏の活動紹介をうけて、情報交換を行った。

3 助産師の活躍推進

1) 新人助産師研修（CLOCMiP® 研修対象の公開講座を実施）

①目的：助産学教育からの継続教育により、新人助産師の臨床助産実践能力の向上および助産師の人材育成を図る。

②開講式（R7.8.9）

新人助産師19名を迎えて開講式を開催した。



③研修会内容と参加状況

	開催月日	科目	講師	新人 助産師数	公開講座受講者数				受講者数
					助産師	看護師	その他	合計	
第1回	令和7年 8月9日	「公開講座」 CLOCMiPⅢ認証研修 新生児のフィジカルアセスメント	山口大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター 木村 献氏	19	7	10	0	17	36
	8月9日	「公開講座」 新生児の看護	山口大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師 三木 砂織氏	19	1	13	0	14	33
第2回	9月7日	「公開講座」 CLOCMiPⅢ認証研修 分娩期の胎児心拍数陣痛図(CTG)	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター センター長 佐世 正勝氏	19	3	1	0	4	23
	9月7日	「新人助産師対象」 分娩期のCTG(演習)	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター センター長 佐世 正勝氏	19	—	—	—	—	19
第3回	令和8年 1月31日	「公開講座」 母乳哺育支援	山口県助産師会 会長 藤田 房子氏	18	3	1	0	4	22
第4回	12月20日	「公開講座」 CLOCMiPⅢ認証研修 緊急時の対応	山口大学医学部附属病院総合 周産期母子医療センター 准教授 村田 晋氏	18	5	1	0	6	24
	12月20日	「新人助産師対象」 緊急時対応の実際	山口大学医学部附属病院総合 周産期母子医療センター 准教授 村田 晋氏	18	—	—	—	—	18
第5回	令和8年 1月17日	「新人助産師対象」 臨床病態生理の基本	山口大学大学院医学系研究科産婦人 科学総合周産期母子医療センター 講師 品川 征大氏	16	—	—	—	—	16
	令和8年 1月17日	「公開講座」 CLOCMiPⅢ認証研修 妊娠と糖尿病	山口大学大学院医学系研究科産婦人 科学総合周産期母子医療センター 講師 品川 征大氏	16	5	1	0	6	22
第6回	令和8年 2月7日	「心に残った場面」発表会	講評：山口大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 准教授 亀崎 明子氏	18	—	—	—	—	18
延べ人数				180	24	27	0	51	231

新人助産師研修の内容は、新卒助産師研修ガイド、CLOCMiP® を参考に企画した。全て対面学習で実施し、講師との相互コミュニケーションやシミュレーション・実技の機会を設けた。アンケート結果から、全員が全ての科目で講義内容が理解でき、得た知識やスキルを今後に活用できると答えている。研修内容については、「知識や根拠についてより深く学べた」「実際の症状をシミュレーション演習したことでイメージできた」等の意見があった。また、「今後のケアに活かせる内容だった」「知識の更新や手技の確認に繋がった」等、臨床につながる研修であった。第6回の事例発表会は、受講生が「心に残った場面」を1症例挙げ、リフレクション形式（REFLECTモデルを使用）でまとめたものを発表した。妊娠期、分娩期、産褥期など各場面で発表群にわけて、発表した。さらに、各発表群の内容に対して意見交換の時間を設け、グループでリフレクションを行った。講師より1人1人の発表に対し、丁寧な講評を頂き、自分自身の看護観・助産観について振り返る大変良い機会になった。また「他の病院との違いや、システムの違いも知れて、良い情報共有の場になった」「自分と同じような悩みを抱えていることが分かって良かった」等の意見があった。

新人助産師研修のうち、「新生児のフィジカルアセスメント」「新生児の看護」「分娩期の胎児心拍数陣痛図(CTG)」「母乳哺育支援」「緊急時の対応」「妊娠と糖尿病」の6講座を公開講座として開催した。うち、4講座をCLOCMiP® レベルⅢ認証研修として実施した。新人以外の助産師や産科領域の看護師を含め延べ51人の参加があった。アンケート結果では、「より理解を深める事が出来た」「分かっていたようで知らなかったことが多かったことに気付いた」等の意見があった。今後も中堅層にも目を向けた研修を企画検討する。

④閉講式

新人助産師18名が閉講式に出席した。今年度、新人助産師1人の辞退があった。今年度より、第2回目に助産師職能委員による体験談を取り入れた。新人助産師のメンタル面でのフォローとなるような研修を今後も継続していきたいと考える。



2) 中堅助産師研修

①目的：山口県助産実践能力向上研修、およびアドバンス助産師育成のため CLoCMiP® レベルⅢ 認証対象研修を中心に実施する。

②研修会内容と参加状況

	開催月日	時間	科目	講師	公開講座受講者数			
					助産師	看護師	その他	合計
第1回	令和7年 11月15日	10：00～12：00	CLoCMiPⅢ 認証研修 女性に対する 暴力予防の支援	山口県立総合医療センター 産婦人科専門医・遺伝診療部長 讃井 裕美氏	22	0	0	22
第2回	11月15日	13：00～15：00	CLoCMiPⅢ 認証研修 多様な性の支援	医療法人いぶき会 針間産婦人科 院長 金子 法子氏	20	0	0	20
第3回	12月6日	10：00～12：00	CLoCMiPⅢ 認証研修 災害時対応	山口大学大学院医学系研究科 産科婦人科学 総合周産期母子医療センター 講師 品川 征大氏	26	0	0	26
第4回	12月6日	13：00～15：00	CLoCMiPⅢ 認証研修 不妊・不育の悩みをもつ 女性の支援	山口県立総合医療センター 婦人科診療部長 田村 博史氏	27	0	0	27
延べ人数					95	0	0	95

CLoCMiP® レベルⅢ 認証対象研修の中から、各支部助産師職能委員の意見を参考にし、企画した。今年度よりハイブリット形式での研修を実施した。受講者数は95人で昨年より多くの参加があり、参加施設も4ヶ所多く14ヶ所であった。実務経験年数の内訳は、1～5年が3.8%、6～10年24.6%、11～20年32.1%、20年以上41.3%であった。研修参加動機では、①知識を得る、② CLoCMiP® レベルⅢ 認証申請、③スキルアップの順位で多かった。アンケート結果から、「知識を深めることができた」「グループワークで他の意見を聞けて良かった」等の意見が聞かれた。今後も、受講者のニーズとラダーに合わせた研修を企画する。



3) 広報活動

ホームページに、研修会の様子を投稿した。10月のきらめきに職能活動報告を投稿した。助産師普及活動としては、一般市民向け（小学生から）の広報につながるリーフレットを作成し、配布した。

4 母子のための地域包括ケア病棟の推進

1) 助産師出向システムの活用

令和8年1月の出向支援研修会に参画、2月の助産師出向システム会議に参加した。研修会では、無痛分娩の基礎について学び、対応を共有できた。

2) 支部助産師職能との情報交換

2回の支部助産師合同職能会議を開催し、ガイドラインと出産なびを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営の推進について話しあった。また助産師の活躍推進について提案した。会議の内容を中四国ブロック、全国職能委員長会で提示した。

5 災害時の対応

支部助産師合同職能会議において、分娩取扱施設における災害発生時の対応マニュアル作成ガイドの周知を行った。さらに、中堅助産師研修で災害時対応を開催した。

6 3職能、4委員会との連携強化

母子のための地域包括ケアシステムの構築に向けての、ネットワークの構築として、助産師・保健師職能合同研修企画・実施した。また、在宅ケア推進委員会に現状について提示した。

3 看護師職能委員会 I

委員長 上田麻衣

1 活動目標	1) 看護実践能力の向上 2) 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進 3) 支部看護師職能 I 委員との連携強化 4) 広報活動・会員増加の推進 5) 日本看護協会との連携
2 委員会開催	1) 職能委員会9回 2) 支部看護師職能 I 委員との合同会議2回 3) 看護師職能委員会 I・II 合同会議4回
3 活動内容	1) 看護実践能力の向上 (1) 生涯学習ガイドラインの普及、生涯学習支援の推進に向けた活動 看護職の生涯学習支援に関する情報交換会開催 日時：R7.8.30 10:00～15:30 内容：オンデマンド「組織で行う生涯学習支援の基礎知識」視聴 生涯学習ガイドラインを活用している施設より情報提供 萩慈生病院 看護部長・認定看護管理者 露繁巧江氏 グループワークによる情報交換 参加者39人 2) 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進 (1) 看護師職能委員会 II との連携強化 合同会議を4回開催(R7.5・7・10、R8.3) (2) 在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 合同会議1回開催 R7.12.19 3) 支部看護師職能 I 委員との連携強化 支部看護師職能委員との合同会議2回開催(R7.10、R8.3) 各支部活動の理解と把握及び情報交換、課題共有 4) 広報活動・会員増加の推進 (1) 看護師職能集会(I・II 合同)1回開催 日時：R7.7.2 13:00～15:00 テーマ：「辞めない職場づくりを目指し取り組んでいること」 講師：山口県立総合医療センター 看護部長・認定看護管理者 田島真由美氏 参加者62人 (2) 会報「きらめき」による情報発信 5) 日本看護協会との連携 (1) 全国看護師職能委員長会 I 2回出席 R7.8.1、R8.3.6 (2) 地区別看護師職能委員長会 I 1回出席 R7.10.31
4 評価と今後の課題	看護職の生涯学習ガイドラインの普及と生涯学習支援の推進を目標に、昨年実施した各施設での「看護職の生涯学習ガイドライン」「看護師のまなびサポートブック」「生涯支援ガイドブック」の普及と活用について現状調査を行った結果より、今年度は看護職の生涯学習支援に関する情報交換会を行った。受講者の中には「看護職の生涯学習ガイドライン」を知らなかった参加者もあり、オンデマンドによる基礎知識の習得と情報提供による活用方法を知ることができ、参加者には学びの多い研修となった。情報交換では他施設の取組みや自施設の課題をあげることができていた。アンケートの中にはガイドラインを活用するための情報提供を増やしてほしいという意見もあり、次年度も生涯学習支援の推進に向けて研修を企画し内容を検討していきたい。 在宅ケア推進委員会との合同会議では、それぞれの専門領域より「情報提供書の書き方ガイド」の活用と退院調整についての課題を協議した。退院調整に係わる課題の中で退院支援看護師の育成について挙げた。今後も協働して課題解決に向けて取り組みたい。 支部の看護師職能委員との連携強化で行う合同会議において、支部ごとで委員数や構成が違うため、より支部の意見が集約できるような仕組みづくりを検討していきたい。

令和7年度 看護師職能委員会 I（病院領域）活動報告

委員長 上田麻衣

看護師職能 I 委員会では、看護実践力の向上と地域連携の強化を目指し、以下の活動目標を掲げ活動を行った。

令和7年度 活動目標

1. 看護実践能力の向上
2. 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携
3. 支部看護師職能委員との連携強化
4. 広報活動・会員増加の推進
5. 日本看護協会との連携

1 看護実践能力の向上

日本看護協会より「看護職の生涯学習ガイドライン」が公表されたことより、看護職が活躍する基盤となる自己研鑽と主体的なキャリア形成ができるよう看護職の生涯学習ガイドラインの普及と組織で行う生涯学習支援の推進について昨年度から取り組んだ。

昨年度は県内病院137施設にガイドラインの普及と活用について現状調査を実施した。その結果よりガイドラインの活用をしている施設は23.2%で、活用について悩んでいる施設が多いことがわかった。このことより今年度は、研修会を企画し実施した。

開催日時：令和7年8月30日 10：00～15：30

テーマ「看護職の生涯学習支援を知ろう 看護職の生涯学習支援に関する情報交換会」

研修内容：オンデマンド視聴 「組織で行う生涯学習支援の基礎知識」

活用について事例紹介 萩慈生病院 看護部長・認定看護管理者 露繁巧江氏

グループワーク 組織における現状と課題について情報交換

参加者：39人



研修会にはガイドラインを知らない参加者が2割程度おり、オンデマンドによる基礎知識の習得と情報提供による活用方法を知ることができて、参加者には学びの多い研修となった。研修後のアンケートのコメントでは、「情報提供によって目標・目的など教育計画立案についてわかりやすかった」、「段階的に支援していくことが大切であることを学べた」という意見があった。情報交換では「他施設の取組みを知り参考になった」という意見が多く、学習することへの動機付けや個人面談での場の活用など自施設の課題をあげることができていた。アンケートの中には活用するための情報提供を増やしてほしいという意見もあり、次年度も生涯学習支援の推進に向けて研修を企画し内容を検討していきたい。

2 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携

看護師職能Ⅱ委員との合同会議を4回開催し、病院領域では知ることができない在宅領域の情報を得ることができた。特に訪問看護や後方支援病院、介護施設での活動について学ぶ機会となった。また、在宅ケア推進委員会と3職能4委員会の合同会議では、それぞれの専門領域より「情報提供書の書き方ガイド」の活用と退院調整についての課題共有を行った。疾病だけでなく生活者としての視点でのアセスメントが病院領域の看護師も必要であることと、退院支援看護師の役割の明確化や育成強化が課題に挙げられた。各々の職種の役割理解と尊重するために事例共有や情報交換会の開催が必要と考える。今後も合同会議を継続し、お互いの活動を共有し課題解決に向けて協働していきたい。

3 支部看護師職能委員との連携強化

支部職能委員との合同会議を2回（10月・3月）開催した。会議の中では、日本看護協会の事業計画や山口県看護協会看護師職能Ⅰ・Ⅱの活動方針・活動報告、各支部の職能委員会の活動報告が行われた。情報交換の中では、人員確保等でSNSの活用をしている施設が多くあった。また看護協会への入会に苦慮する声も挙げられた。今後も各支部の取組や現場での課題を集約していきたい。また、支部ごとに委員数や構成が異なるため、支部の意見が集約できるような仕組みづくりを検討していきたい。

4 広報活動・会員増加の推進

看護師職能集会（看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同）

開催日時 R7.7.2 13:00～15:00

テーマ「辞めない職場づくりを目指し取り組んでいること」

講師：山口県立総合医療センター 看護部長・認定看護管理者 田島真由美氏

参加者：62人

辞めない職場づくりはどの病院施設も課題になっているため、平日にも関わらず多くの看護管理者の方の参加があった。アンケートでは取組事例が参考になったという意見が多かった。今後も看護師職能Ⅰ・Ⅱで共通する課題をもとにした研修を立案していきたい。

5 日本看護協会との連携

全国看護師職能委員長会 I

第1回開催日時：R7.8.1

討議テーマ：1. 病院看護職への暴力・ハラスメントの現状

- 1) 患者・家族等からの暴力・ハラスメント
- 2) 同じ勤務先の職員からの暴力・ハラスメント

2. 暴力・ハラスメントに対する看護管理者の対応の現状

第2回開催日時：R8.3.6

討議テーマ：2040年に向けて病院看護師に求められる看護実践能力とその育成について

1. 2040年に向けて病院看護師に求められる看護実践能力について
2. 看護実践能力向上のための病院領域における教育・育成の課題について
3. 上記に応じて人材を育成するうえで、入職時の新人に期待する看護実践能力について

地区別看護師職能委員長会 I

開催日時：R7.10.31

討議テーマ：1. 看護補助者との連携・協働で生じている医療安全上の課題

- 1) 看護補助者との協働における医療安全の現状
- 2) 安全な業務遂行のための取組み

2. 看護記録等の質向上と負担軽減に向けた取組み状況と課題について

- 1) 看護記録等に関する取組み
- 2) 看護記録等に関する課題

3. 都道府県看護協会看護師職能委員長会 I 病院領域における会員確保に関する取組について

- 1) 看護協会への入会について、県下の病院勤務の新人看護師に対してどのようなアプローチ方法が効果的か
- 2) 県下の病院勤務の新人看護師の入会促進のためにどのようなツールがあると良いか

2040年に向けて、地域の医療・看護提供体制を維持するために看護職員の確保が病院領域における大きな課題となっている。病院看護職の安全と安心を守り、できるだけ長く働き続けられる環境を整備することが重要なため、今後も現場の意見集約を行い日本看護協会と連携していきたい。

4 看護師職能委員会Ⅱ

委員長 露繁巧江

1 活動目標	1)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の資質向上の推進 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 3)3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化 4)広報活動・会員増加の推進
2 委員会開催	1)職能委員会9回 2)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議2回 3)看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議4回
3 活動内容	1)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の資質向上の推進 介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)開催 実施期間：R7.9～11月 実施施設数：15施設(老健・特養・有料老人ホーム) 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 (1)看護師職能Ⅱ交流会開催：R8.2.28 参加者21人 テーマ「誰に言えない、ホンネを語ろう！」 内容①山口県の看Ⅱ領域の看護職のマネジメントに関する実態調査の結果報告 ②グループワーク (2)全国看護師職能委員長会Ⅱ出席2回(R7.8.1・R8.3.6) (3)地区別看護師職能委員長会Ⅱ出席1回(R7.10.31) (4)看護師職能Ⅱ領域の看護職のマネジメントに関する現状調査と課題抽出 介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホームを対象に実施したアンケート調査の結果を分析し課題を抽出した。この課題から、今後の委員会活動について検討した。 3)3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化 (1)3職能4委員会および在宅ケア推進委員会との合同会議(R7.12.19実施) (2)看護師職能委員会Ⅰとの合同会議(5・7・10・3月) (3)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議(R7.10.22・R8.3.18実施) 4)広報活動・会員増加の推進 (1)看護師職能集会：R7.7.2 参加者62人 テーマ「辞めない職場づくりを目指し取り組んでいること」 講師：山口県立総合医療センター 看護部長・認定看護管理者 田島真由美氏 (2)会報「きらめき」による情報発信：2025年,6月号,Vol.162, p 12. 活動紹介
4 今後の課題等	(1)認定看護師出前講座を令和8年度も15施設へ実施する。 (2)上述2)-(4)の課題解決にむけて具体的に取り組んでいく。

令和7年度 看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）活動報告

委員長 露繁巧江

介護職員等の医療的知識習得（認定看護師出前講座）関係研修の取組

1 本事業の目的

高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療を必要とする要介護者に対し医療介護連携による適切なサービスを提供するため、医療的知識の習得に向けた認定看護師出前講座による研修を企画・立案・実施し、介護施設で働く看護職員等の資質向上を推進する。

2 対象者

介護施設の看護職員、介護職員、およびその他の職員

3 研修内容

医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスが提供できるよう、看取りケア、褥瘡ケア、摂食嚥下等の看護技術・知識の習得に資する内容とする。

4 研修実施日

R7.9.26～R7.11.20までの15日

5 実施内容

5-1. 講座開催に向けての準備

1) 実施施設の選定

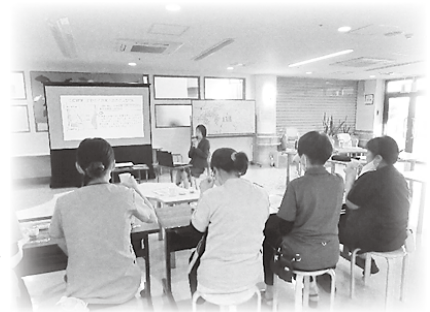
(1) 講座開催に向けて意向調査を実施

- ① 調査施設：老人保健施設61・老人福祉施設139・介護付き有料老人ホーム20（計220施設）
- ② 調査期間：R7.5.26～R7.6.13
- ③ 調査結果：46施設（老人保健施設13・老人福祉施設28・介護付き有料老人ホーム5）で開催を希望

(2) 選定基準を設け15施設を決定

選定基準は以下の3点である。

- ① これまでに実施していない施設を優先した。
- ② 施設が希望する開催時間、開催曜日を考慮した。
- ③ 施設が希望する講座の内容について考慮した。



2) 認定看護師の選定

(1) 選定期間

開催施設決定後に、具体的な講座内容について施設と協議し、施設側が求めている専門分野の認定看護師15人を選定した。

(2) 選定方法

認定看護師15人の選定は、講座開催施設の地区支部から選出し、講座終了後も施設と関わりがもてるように配慮した。ただし、施設が希望した分野の認定看護師が地区支部にいない場合は、隣接の地区支部から選出した。

(3) 開催日の調整

認定看護師、実施施設、看護師職能Ⅱ委員、看護協会事務局4者の日程を調整し開催日を決定した。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

開催施設の感染防止対策を講じた上で開催した。

5-2. 講座開催実績

1) 開催実績の概要

15施設で予定どおり実施できた。講座方法は全て対面で行った。実績の一覧は以下（表1）である。

表1 令和7年度認定看護師出前講座開催一覧

地域	施設名	講座内容	開催日	時間	参加人数
山口	特別養護老人ホーム山口喜楽園	看取り	9月26日(金)	14:00～15:00	13人
岩国	介護老人保健施設なんわ荘	摂食・嚥下	10月1日(水)	14:00～15:00	15人
下関	特別養護老人ホーム サテライト梨花の里アスパ	褥瘡	10月3日(金)	14:30～15:30	11人
岩国	介護付き有料老人ホーム クローバーハウス	摂食・嚥下	10月7日(火)	13:00～14:00	10人
下関	特別養護老人ホーム員光園	看取り	10月17日(金)	14:30～15:30	27人
防府	特別養護老人ホームまめ舎	認知症	10月21日(火)	15:30～16:30	18人
山口	老人保健施設ハートホーム山口	急変対応	10月24日(金)	14:00～15:00	35人
宇部	有料老人ホーム宇部西あかり苑	看取り	10月27日(月)	10:00～11:00	25人
周南	老人保健施設温泉の里	急変対応	10月29日(水)	14:00～15:00	19人
萩	老人保健施設ひまわりの苑	認知症	11月5日(水)	15:00～16:00	23人
柳井	特別養護老人ホームかみのせき苑	摂食・嚥下	11月7日(金)	15:00～16:00	8人
岩国	介護付有料老人ホーム あいらの杜新岩国駅前	感染	11月11日(火)	13:30～15:00	7人
長門	特別養護老人ホームへき楽園	褥瘡	11月13日(木)	14:00～15:00	21人
岩国	介護付有料老人ホームティエラ	看取り	11月18日(火)	14:00～15:00	19人
周南	特別養護老人ホーム友愛園	摂食・嚥下	11月20日(木)	10:00～11:30	17人

2) 受講者について（表2・図1参照） 表2 参加15施設の受講者数と職種内訳

(1) 受講者人数 合計268人

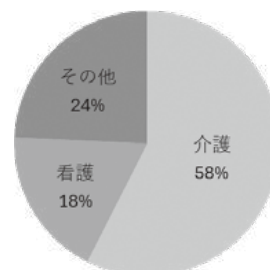
(2) 受講者職種内訳と割合

介護職 154人（58%）

看護職 49人（18%）

その他（介護支援専門員・生活相談員・リハビリ職・栄養士等）（24%）

受講者数 合計	職種内訳(人)		
	介護	看護	その他
268	154	49	65



3) 講座内容（講座項目・施設数）

看取り（4）、摂食・嚥下（4）、褥瘡（2）、認知症（2）、急変時の対応（2）、感染症（1）

図1 令和7年度認定看護師出前講座受講者の職種別内訳

6 講座のアンケート調査結果

出前講座受講生、出前講座実施施設、講師（認定看護師）、看護師職能Ⅱ委員を対象にアンケート調査を実施した。

6-1. 受講者アンケート結果

- 1) 内容の満足度：「満足」「やや満足」の回答が98.4%であった。
- 2) 内容の理解度：「理解できた」「やや理解できた」の回答が98.4%であった。
- 3) 実践へ活用：「できそう」「ややできそう」の回答が97.9%であった。
- 4) 開催時間：「適切である」「やや適切である」の回答が97.9%であった。

5) 受講者の感想（抜粋）

- ・看取りは亡くなる前から始まり最期をどの様にするかと言うことを勉強しました。
- ・緊急時だけでなく普段の関わりの重要性を学ぶことが出来てよかった。
- ・認知症の方への接し方を改めて勉強になりました。
- ・褥瘡を早期発見し、看護師と協力し早期治癒に努めていきたいと思います。
- ・介護の現場では誤嚥や窒息などは命取りになるので、しっかりと覚えておきたいです。
- ・介護施設で、多職種の職員が携わる中で、標準予防策の理解と実践が今後活かされると良いなと思いました。

6-2. 実施施設アンケート結果

1) 実施施設の感想：

好意的な感想が多かった（感想内容の一部を以下に記す）。

- ・小さな施設だからこそ、施設職員一丸となって取り組むことの重要性を学びました。
- ・今後、この研修で学んだことを活かしていきたいです。また、不安なことがあれば相談したいと思います。

2) 実施施設からの要望：

- ・専門職の方に褒めてもらえると、各自の自信にも繋がるので、こうした研修が継続して参加できると嬉しいです。
- ・もう少し看取りの話が聞けたらよかったかと思います。

6-3. 講師（認定看護師）のアンケート結果

1) 日程・講義時間・資料準備について：問題ないとの回答であった。

2) 今後の協力について：全員協力できるとの回答であった。

3) 意見：課題と考えられた意見を抜粋し記載する。

- ・講義当日に USB が使用できず、動画再生ができませんでした。もし可能であれば事前に USB の使用が可能かも相談できると資料作成に助かります。

6-4. 看護師職能委員会Ⅱのアンケート結果（気づき）

日程・開催時間・準備等の運営について、概ね問題なく遂行できたとの回答であった。今年度のアンケートは一部の施設を除いて QR コードで実施した（電波の関係で1施設は例年どおり紙ベースで実施）。回答率は紙ベースと比べて若干は減った、逆に無回答がなくなり次年度も継続できる。

開催の在り方としては、講師や事務局の負担、会場の準備などを考えると、オンライン開催など取り入れてみても良いかもしれない。

7 活動の評価・課題

7-1. 活動の評価

委員の振り返りを集約すると、受講者・施設・認定看護師のアンケート結果から本活動の目的は果たせた。開催時間、開催時期も適切であり、来年度も9～11月の期間、講義1時間を原則として開催していく。また、今年から施設側で準備をしてもらう項目を多くした。初めての開催施設は戸惑いがあったが事前に看護協会と連絡を取り合うことで問題なく実施できたことから、次年度もこの準備方法を踏襲していく。他、以前と比べると生活相談員や介護支援専門員、言語聴覚士や理学療法士といった他の職種の出席が増えたように思う。この出前講座が多職種連携推進の一助になっていると感じた。

新たな課題は、セキュリティ対策である。上記6-3)にも記載しているが、講師のUSBが施設のPC媒体にアクセスできないといったセキュリティの問題が発生した。次年度は事前に開催施設側のセキュリティ対策について確認することが必要である。

7-2. 今後の課題

上記、評価を踏まえ今後の課題は以下3点抽出された。

- 1) 開催時期や時間、準備の在り方は令和7年度を踏襲し、本事業が無理なく実施できる継続可能な体制で行う。
- 2) 開催前の確認事項に開催施設のセキュリティ対策を入れる。
- 3) アンケート調査方法は、QRコードを用いて行う。

出前講座認定看護師 派遣協力施設

国立病院機構岩国医療センター、岩国市医療センター医師会病院、国立病院機構柳井医療センター、徳山中央病院、山口県立総合医療センター、山口赤十字病院、済生会山口総合病院、山口大学医学部附属病院、長門総合病院、萩市民病院、下関市立市民病院、済生会下関総合病院 計12施設にご協力をいただいた。

令和7年度 常任委員会活動報告

1 労働環境支援委員会

委員長 伊藤泰枝

1 活動目標	1) 働き続けられる職場づくりを推進する 2) 看護職の確保・定着等について検討する
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1) 働き続けられる職場づくり研修会の開催 開催日 R8.1.16 受講者 チームリーダー、実習指導者等の役割を担う看護職(スタッフ)54人 講師 株式会社メディフローラ 代表取締役 上村久子 テーマ 「愉しく！働き続けられるチームづくりを考えよう！」 2) ナースセンター事業への意見・提言 (1) 2025年度地域の実情に応じた看護職確保推進事業(日本看護協会委託) ① 領域別・地域別偏在是正に向けた取組 「看護のしごとセミナー & 会社説明会」(セカンドキャリア対象：ハローワークと共催) 「働き方改革・セカンドキャリア等活躍推進研修会」(看護管理者対象) セカンドキャリア人材バンク「きらめきナース」運用、広報活動など ② 看護補助者の確保・定着に向けた取組 ハローワークと共催による説明会・研修会の実施、無料職業紹介など ③ 看護学生・潜在看護職を対象としたNuPSの周知 看護学校等へのチラシの持参及び送付、学校訪問による教員・学生への説明 ホームページ・LINE等への掲載
4 評価と今後の課題	1) 働き続けられる職場づくり研修会について 働き続けることができる心理的安全性の高いチームづくりの実践ができるよう、講義やグループワークが行われた。自分のチームを振り返り信頼されるリーダーとしての行動を学ぶことができ、アンケート結果からも満足度の高い研修となった。 2) ナースセンター事業への意見・提言について ① セカンドキャリアや看護管理者を対象とした研修会では、地域の実情に応じた多様な働き方についての示唆を得ることができる内容であった。 ② 看護補助者の確保・定着への取組として会社説明会や就業に向けた研修会を実施し、就業者の割合が他県より高いという結果が見られ、効果のある取組であった。 ③ 看護学生・潜在看護職に対してNuPSの周知ができるよう、わかりやすく説明する媒体の作成などに取り組んでいくことが課題である。 今後も事業を継続するとともに、ナースセンターの看護職確保推進事業を各施設での取組に活かせるように、看護管理者等に広く情報提供を行うことを検討していく。

2 看護制度委員会

委員長 木倉悠子

1 活動目標	1) 准看護師が継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるよう支援をする。 2) 臨床・教育・行政との連携強化により、看護基礎教育の充実を図る。 3) 看護専門領域の資格取得者の地域貢献活動を支援する。
2 委員会開催	5回

3 活動内容	1) 准看護師スキルアップ研修・情報提供・交流会の開催 R7.8.7 受講者24人 准看護師がスキルアップに繋げていけるような研修会等を企画運営した。 2) 看護師基礎教育を考える会の開催 R7.11.1 受講者20人 看護基礎教育の現状や課題について、理解を深めるための研修会等を開催した。 3) 看護専門領域の資格取得者の地域貢献活動支援 「認定看護師等活躍推進事業検討会」と連携し、看護専門領域の資格取得者が活動する上での課題を共有した。
4 評価と今後の課題	1) について 令和6年度に実施した准看護師スキルアップ研修会のアンケート結果をもとに、8月7日に「准看護師スキルアップ研修会」を開催した。内容として、「口から食べる重要性」と題した研修会、ならびに「准看護師からのキャリアアップについて～自身の経験から～」と題した情報提供を行った。研修会のアンケート結果をもとに来年度の企画内容を検討する予定である。 2) について 11月1日に「看護師基礎教育を考える会」を開催し、行政、教育、臨床の立場から情報提供をいただくとともに、看護師教育の現状や課題についてグループワークにて意見交換を行った。講演会のアンケート結果をもとに来年度の企画内容を検討する予定である。 3) について 県の委託事業である「認定看護師等活躍推進事業検討会」と連携し、看護専門領域の資格取得者が地域活動を行っていく上での課題を共有した。

3 教育委員会

委員長 三浦京子

1 活動目標	1) 令和7年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。 2) 教育研修立案に際して、「看護の将来ビジョン2040」、日本看護協会の基本方針、山口県看護協会の事業方針、会員のニーズを反映した研修計画を立案する。 3) 会員のニーズおよび令和7年度研修会の評価をふまえ、看護職の更なる実践能力の向上につながる令和8年度教育研修計画・立案する。
2 委員会開催	8回
3 活動内容	1) 教育研修会の広報と実施 (1) 看護実践能力養成研修会の実施について 実施研修数 30研修、受講者総数 2,124人 2) 研修の評価と次年度研修計画立案について (1) 令和7年度の教育研修の運営・評価 終了した研修についてアンケート結果を含め、研修担当委員による評価を委員会において検討した。 (2) 令和8年度の教育研修計画の企画・立案 日本看護協会が示す看護職の生涯学習ガイドラインから看護職に求められる能力の4つの領域に分類し研修計画を立案した。 3) その他 (1) 研修がより有意義に、受講者がより参加しやすい形で受講できる研修方法を検討しオンライン研修を3回実施した。 (2) 他機関との連携の強化・推進を図り、初めて山口大学の看護実践教育センターにて演習中心の研修を実施(R7.11.21)

4 評価と今後の課題	1)について 企画した30研修を全て実施した。委員は分担して各研修を担当し、運営に参画し円滑な研修の運営と評価ができた。受講者は、前年度より158名減少したが、アンケートの結果は、9割以上が肯定的な回答であり、受講者のニーズにあった研修内容であった。また、研修会場のweb環境が整ったことで、電子媒体を用いた双方向の研修が展開できた。さらに、山口大学看護実践教育センターにて「急変対応」の演習に特化した研修を企画し、専門領域のインストラクターが関わり充実した満足度の高い研修が開催できた。今後はより効果的な研修の提供に向け、他機関との連携体制の整備・強化が課題である。 2)について 山口県の看護師が求められる看護の提供につながる研修を立案するため、「看護の将来ビジョン2040」「日本看護協会の看護職の生涯学習ガイドライン」「山口県看護協会の事業方針」「会員のニーズ」をもとに検討し計画の完成に至った。 3)について 次年度も受講者のニーズを把握するため、アンケートの内容や、回収に関する検討を継続する。また、受講者のライフスタイルや取り巻く環境の変化等を踏まえ、受講しやすい研修の提供を検討し、質の高い看護につながる研修を企画していく。
------------	---

4 学会委員会

委員長 村田佳子

1 活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興とそれに連動した看護の質向上を図る。
2 委員会開催	6回
3 活動内容	1) 第25回山口県看護研究学会の企画 テーマ「看護の未来を築く－生涯学習で育む知識と実践－」 開催日時：R8.3.7(土)9:45～15:00 内容：(午前)口演発表9題、示説発表2題 (午後)特別講演：テーマ「実践知を未来に紡ぐ－ケアの意味を見つめる事例研究－」 講師：日本赤十字看護大学大学院看護学研究科准教授 仁昌寺貴子氏 「ケアの意味を見つめる事例研究(CMC)」の概要が紹介され、日常の看護実践を振り返りケアの意味を言語化することが、看護実践の深化や実践力の向上、次世代への知の継承につながることを示された。 参加者 一般参加90人、学生56人 2) 投稿募集、応募原稿査読・選考を行い、第25回山口県看護研究学会抄録集を発行した。 3) 山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討 ・学会開催後に参加者に対してアンケート調査を実施。結果を共有し次年度の開催内容について4月の会議で検討予定 ・発表形式の拡充や、研究支援体制の充実に関する検討
4 評価と今後の課題	本年度の学会委員会活動を振り返ると、まず査読においては、当学会では査読基準に沿った評価だけでなく、研究者への教育的支援を含めた査読を行ってきたことが特徴として挙げられる。学会終了後には発表施設から「勉強になった。」といった意見も聞かれ、研究者の学びにつながる取り組みであったと考えられる。一方で、修正や指導を伴う査読は査読者の負担が大きくなる場合もあり、当学会における査読の在り方については今後も継続して検討していく必要がある。 また、先日開催された山口県看護研究学会では、一般演題の発表および特別講演を実施した。特別講演ではケアの意味を見つめる事例研究(CMC)に関する講演が行われ、会場からは日常の臨床業務と研究活動の両立に対する困難感や、CMCの具体的な活用方法に関する質問が寄せられた。これらの反応からも、当学会は研究成果を発表する場としての役割にとどまらず、査読や企画を通じた参加者の学びや看護研究への関心を高め

	る役割を果たせたと評価する。 今後は委員会として実践報告等の受け入れなど発表形式の拡充や、研究支援体制の充実についても検討を進めていきたいと考える。
--	--

5 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 大林由美子

1 活動目標	1)カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2)認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1)令和7年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R7.4.18～9.6 32日間 2)令和7年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 3)令和7年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R7.10.23～12.24 21日間(うち1日は特別講義) 4)令和6年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 5)令和7年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 6)令和8年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修受講者選考の小論文テーマ決定 7)令和8年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修受講者選考と決定 8)令和10年度より開始となる、新たな認定看護管理者教育課程に関する情報共有 9)現行の認定看護管理者教育課程研修終了に伴う、履修時間不足者の救済措置検討
4 評価と今後の課題	1)評価 計画通り、カリキュラム基準に沿った円滑な運営と教育評価を行うことができた。 委員会はwebによる開催形式をとっているため、天候状況ならびに各種感染症蔓延による開催への影響は無く審議ができた。 ファーストレベル研修、サードレベル研修受講者選考も、検討基準にもとづき実施することができた。 2)今後の課題 令和10年度より開始予定の「看護管理研修(付加研修含む)」と、「新たな認定看護管理者教育課程」の開講に向けた準備、内容を検討する。 (山口県看護協会は、令和10年に看護管理研修[付加研修含む]を開催予定であり、令和11年に新たな認定看護管理者教育課程研修を開催予定である。) (1)「看護管理研修(付加研修含む)」プログラム認定の申請 (受付期間：R8.11.1～12.15) (2)「看護管理研修(付加研修含む)」eラーニング内容の事前視聴 (事前配信時期は未定) (3)「看護管理研修(付加研修含む)」の演習プログラムと実施期間の検討 (4)認定看護管理者教育運営委員会規定等の改正

6 広報委員会

委員長 郡島知佳

1 活動目標	1) 会報「きらめき」を発刊し、県内各支部や委員会、施設などの取り組みを情報発信し、魅力を伝えていく。また、会員が必要とする内容を検討し紙面の充実を図る。 2) 看護協会の認知度を高めるためホームページの充実と、協会員の増員につながる広報活動を推進する。 3) 日本看護協会や、各施設の新たな取り組み等に対し、時宜を得た広報活動を行う。
2 委員会開催	6回
3 活動内容	1) 山口県看護協会会報「きらめき」年に3回発行 (1)発行時期：6月、10月、1月(会報号162号、163号、164号) (2)実施内容等 ①掲載内容・紙面形式の検討 ②原稿依頼 ③原稿の編集・校正 ④紙面構成の検討 ⑤看護協会会員特典等の情報収集 2) ホームページの充実 ブログの更新 3) 県内各地施設の新たな取り組み等の情報収集 4) SNS(LINE)の発信 友達登録2,212人(R8.4.9時点)
4 評価と今後の課題	1) 会報「きらめき」では、各会員施設等がアピールできるような表紙、かんごちゃんの活動記、今年の顔の紹介、ペット自慢など、写真の掲載を増やし、鮮やかで目を引く楽しい誌面作りができた。今後は、若年の協会員に看護協会の活動を気軽に知ってもらえるよう、SNS(Instagramやtiktok)の活用や看護協会周辺のカフェ情報の掲載や「パパナース」、「私のお昼ごはん」など、新たなトピックの企画、検討していきたい。また、各支部での活動の様子や、認定看護師や特定行為看護師等の専門性の高い活動内容も知ってもらい、自身のスキルアップに役立つ広報を行い、LINE活用して、幅広い広報活動を実施していきたい。 2) ホームページについては、PC以外からアクセスした場合の見やすさを意識し、スマートフォン版の改修をおこなった。引き続き、アクセス状況を確認しながら、必要時改修をおこなっていききたい。また、看護協会の顔である「かんごちゃん」の貸出予約もオンラインで気軽にできるよう調整していきたい。

7 推薦委員会

委員長 福重奈月

1 活動目標	1) 役員(外部監事を除く。)の改選に係る候補者の推薦 2) 職能委員会委員、常任委員会委員の改選に係る候補者の推薦 3) 日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦
2 委員会開催	2回
3 活動内容	1) 第1回推薦委員会 書面開催 次の役員等の候補者名簿の作成 令和7年度理事・幹事の改選、推薦委員会委員の改選及び職能委員会・常任委員会委員の選任、令和8年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出 2) 第2回推薦委員会 (1)推薦委員会の任務 (2)委員長の選出 (3)各委員会の活動内容 (4)役員選挙等日程 (5)役員等の立候補、選挙及び兼職

	(6)推薦委員の改選 (7)職能委員及び常任委員の選出 3)県推薦委員会(助産師・看護師職)の開催 1回 4)職能委員及び常任委員の選出に係る各施設等への依頼並びに選出報告 5)選出困難委員会に係る候補者の選定対応 6)支部推薦委員説明会の開催 (1)支部推薦委員の任務 (2)役員選挙、支部集会等日程 (3)R9地区理事候補者の推薦 (4)R8支部役員及び推薦委員の推薦 (5)R9山口県看護協会通常総会代議員及び予備代議員候補者の推薦 (6)R8支部委員会委員の推薦
4 今後の課題等	県推薦委員と支部推薦委員は携わる内容が異なるため、一堂に集めた合同会議の開催を取りやめた。 県推薦委員に対しては第2回推薦委員会の中で説明等を行い、支部推薦委員に対しては別途説明会を開催し、それぞれに対して情報の伝達・共有を図ることができた。 前年度、支部推薦委員に対して資料を送付、不明な点についてお問い合わせいただく方法に変更したが、前述の対面説明会の開催は、業務に対する不安感の軽減や疑問点等の共有において有意義な会と判断したい。 各職能・常任委員会において、次年度の取り組み方針・目標が決められ、その達成に向けた体制づくりの中で、任期満了委員の後任選定にあつては、十分協議のうえ意向を当委員会にお伝えいただきたい。 一方、依頼先病院の体制(人員減)により「選出困難」となるケースが多いことをご承知いただきたい。【継続課題】

8 医療安全推進委員会

委員長 河村敦子

1 活動目標	1)医療安全管理者の資質向上の推進 2)医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援 3)医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進
2 委員会開催	6回(うち1回は圏域代表を招集して開催)
3 活動内容	1)医療安全管理者スキルアップ研修の企画・運営・評価 令和6年度に企画した研修「医療安全管理者に求められるメディエーションスキル」が延期になり、令和7年4月5日に開催した。参加者22人 今年度の研修内容は「医療安全の原動力-whyから始めるチーム変革とリーダーシップ」について、講師は島田尚哉氏を招き、令和7年12月6日に開催した。参加者39人 2)医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援 (1)山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価 ①圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画 圏域代表会議を令和7年10月9日に実施し、圏域代表者と活動報告、意見交換や情報交換をした。 ②現任の医療安全管理者を対象としたネットワーク構築を目的とした企画 医療安全管理者情報交換会を令和7年6月18日に開催。ワールドカフェ方式でテーマは「患者クレーム対応」「身体拘束最小化チーム」「リスクマネージャーとしての困りごと」。参加者36人 3)会報「きらめき」による医療安全情報の発信(年3回) 年3回のうち2回発信。「きらめき」163号(10月号)164号(1月号)に医療安全情報を掲載。

	4)小冊子「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の普及活動 令和5年度末にWeb およびホームページに掲載している。今後の更なる普及活動を検討していく。 5)医療安全管理者養成研修の支援 研修内容は「安全文化の醸成」、講師は三澤朋博氏を招き令和7年11月12日に開催した。委員から2名支援。
4 評価と今後の課題	スキルアップ研修は、前年度分が繰り越されたため2回実施となった。どちらも好評であった。 6月開催の情報交換会では、ワールドカフェ方式を取り入れた。情報交換がしやすく有意義な内容で、72.7%の参加者が満足できた結果だった。テーマを絞るなど研修の方法を次年度に向け検討する。 次年度からは、医療安全管理者養成研修が山口県看護協会主催となるため、準備を進めていく。 小冊子「看護職あなたのためのリスクマネジメント」第5版については、次年度から修正したものを配布できるようにする。

9 災害支援委員会

委員長 木村直也

1 活動目標	1)災害支援活動体制の整備・充実 2)山口県災害支援ナースの育成及び質向上のための支援 3)一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力向上
2 委員会開催	5回
3 活動内容	1)委員会活動内容 (1)災害支援ナース養成研修の内容の検討、企画、実施 日本看護協会からの指示内容に基づいて、研修実施内容の改訂を行った。研修内容については全国で統一された時間、内容で実施。委員は研修会の企画・調整、講師の役割を担った。 (2)災害支援ナースステップアップ研修の内容の検討、実施 午前を災害編、午後を感染編としてステップアップ研修を企画・開催した。 災害編は実践報告を2例と災害時の備えとして被災者心理に関する研修、感染編はゾーニングに関する講義を実施した。 (3)山口県総合防災訓練における展示参加の検討・準備 2)研修開催内容 (1)災害支援ナース養成研修 e-ラーニング修了者に集合研修を実施 R7.12.17～12.18 修了者54人 (2)災害支援ナースステップアップ研修 R7.11.5 災害支援ナース活動実践報告・被災者心理について 感染管理・ゾーニングについて 参加者39人 3)その他 (1)2025年山口県総合防災訓練参加 R7.5.25 防府市潮彩市場 委員他6人参加。 災害時・避難時に役立つ知識や技術体験(手指衛生・救急救命法の体験型展示) (2)関係機関、団体との協働、協力

4 評価と今後の課題	1) 評価 災害支援ナース育成研修については前回同様改定が行われたため、日本看護協会の指示に基づいて研修内容を改定して実施した。変更点は複数あり、スライド等指定のもので統一された内容となった。大きなトラブルはなく概ね問題なく実施されたが、今後も改訂を重ねていく事が想定されており、最新の内容に基づいた研修開催を行っていく。ステップアップ研修については災害支援ナースの現在の位置付けを考慮し、災害編・感染編の双方を実施。災害編・感染編とも半日ずつの開催となるため時間管理が重要とはなるが、受講生アンケートによる理解度、満足度とも高く、今後も同様に災害編・感染編の双方に重点を置いた研修企画・開催を行っていく。 県の総合防災訓練に於いては、看護協会の災害時の活動PRと、手指衛生・救急救命法の体験型展示を行った。展示スペースは屋根付の屋外スペースであった。訓練会場とやや離れた立地であったため市民から目立ちにくいのではないかと、との想定もされたが、各参加者で積極的に市民への声掛けを行い、多くの市民に参加型の展示を体験して頂き、看護協会のPRに繋がったと考える。 2) 課題 災害支援ナース育成研修においては日本看護協会の規定する育成指導者の条件もあり、速やかな指導者の育成を行う事は困難であるが、特定の講師によらない幅広い講師育成が望まれる。感染編については毎年的人员変更は研修内容の変化に対応しづらい事も考えられるため、今年度の講師を中心に企画していく事が望ましい。 ステップアップ研修については、災害支援ナースの質の維持・向上のための企画・運営を行っていく。
------------	--

10 在宅ケア推進委員会

委員長 柴崎恵子

1 活動目標	1) 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取組 2) 在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進
2 委員会開催	5回
3 活動内容	1) 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取組 (1)「情報提供書の書き方ガイド」について ・令和6年度に介護支援専門員協会、3職能4委員会より頂いた意見を反映させ、ガイドの案を作成し、本年度は、その案をもとに再度、介護支援専門員協会に意見を聞き「情報提供書の書き方ガイド」を完成させ、活用方法について3職能4委員会の意見を求めた。 ・次年度計画として、ガイドの配布と活用の促進、退院支援を円滑に進めるための研修会開催について検討した。 (2)会報「きらめき」に活動紹介(R8年1月号) 2) 在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進 ①介護支援専門員との意見交換 介護支援専門員と病棟看護師の連携における意見を聴取した。 ②3職能4委員会との意見交換 退院調整について病院と地域が連携する上での課題を共有、意見交換を行った。
4 評価と今後の課題	今年度の委員会では、昨年度に引き続き「情報提供書の書き方ガイド」の作成を継続し完成させ、配布方法や周知方法の検討までを行った。その過程の中で、介護支援専門員と3職能4委員会の看護職の方々から、連携推進するための課題についても意見交換を行った。意見を踏まえ今後は、書き方ガイドの活用を促進するとともに、このガイドが単に情報を伝えるためのツールというだけでなく、看護師一人一人が在宅生活をイメージできるツールとなり、在宅ケアにおける看護の実践能力を向上させ、機能強化につながるよう活動していく必要があると考える。

令和8年度重点方針

さらなる少子高齢化の進展、高齢単身世帯の増加や複雑かつ複合的なニーズを有する方の増加、生産年齢人口減少下における DX や働き方改革の推進など、2040年に向け看護を取り巻く環境は大きく変化していく。その変化の中にあっても人々の最も身近にいる医療専門職である私たち看護職は、人々のいのち・暮らし・尊厳をまもり支えるという看護の本質的な使命を引き続き果たしていく必要がある。

新たな地域医療構想のもと、入院・外来・在宅、医療・介護連携等も含めた地域完結型の医療・介護提供体制の構築が推進されることから、看護においても今後、多職種や多機関はもとより、職能間での連携・協働の必要性が今以上に求められる。

看護職が社会の期待に応え、その重責を果たすために、本協会は組織力を強化し、社会ニーズを適宜・適切に踏まえた事業展開による看護の質の向上、安心して働き続けられる環境づくりの推進、人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図るとともに、看護職自身が日々の看護実践にやりがいを実感し、心身ともに充実して働けることをめざしていきたい。

本協会では、看護職が必要とされるあらゆる場で、住民のニーズ、社会からの期待に一層応え、全ての人々がその人らしく生涯を過ごすことのできる社会を実現できるように、令和8年度は以下の5点を重点方針として事業を行う。

- I 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携
- II 看護職の確保と定着の促進
- III 生涯学習支援等による看護の質の向上
- IV 組織力の強化
- V 地域における健康危機管理体制の強化

令和8年度 重点方針・重点事業の説明

重点方針Ⅰ 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

【事業概要】

地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため「全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携」を重点方針とし、子ども・子育て世代、障害者、高齢者など、全ての住民を対象とした取組を進めている。とりわけ訪問看護は、在宅療養支援の要となるサービスであり、訪問看護師の人材確保、育成、訪問看護ステーションの機能強化が必須となっている。令和6年度に訪問看護に係る様々な課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化を図るため、「訪問看護総合支援センター」を設置し運営を開始するとともに、さまざまな機会を通じて訪問看護総合支援センターの周知を図ってきたところである。

また、支部事業として、在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携の強化を図る目的で、地域における課題の抽出と課題解決のための取組を展開している。今後も、地域の特性を活かしながら看護職のみならず多職種との協働・連携へと発展させていく。

さらに、保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱの各職能委員会及び在宅ケア推進委員会において、地域を見据えた専門領域での看護職間および多職種間の連携について検討し、抽出した課題解決に向けた取組を継続するとともに、母子のための地域包括ケアシステムの推進に向けた取組についても継続する。

【重点事業】

I-1 訪問看護提供体制推進事業（県委託）

(1)訪問看護総合支援センターの運営

ポイント 在宅療養の安心・安全な提供のため、関係機関や行政と連携のもと、以下の事業を通して訪問看護ステーションの支援を行い、訪問看護提供体制の安定化を図る

- ・訪問看護ステーションのための運営・経営支援
- ・訪問看護師の人材確保
- ・訪問看護の質の向上
- ・訪問看護実態調査

(2)在宅療養支援のための看護職連携推進研修

ポイント 支部事業として、圏域毎の課題に沿った活動を実施

- ・在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取組

I-2 地域連携における看護の機能強化事業

(1)新地域~~の~~看護管理者と自治体統括保健師等の連携強化事業

ポイント 2040年に向けて、地域の看護管理者や自治体統括保健師等が所属を超え地域課題の共有や各役割の認識ができるよう交流会の開催

(2)在宅ケアにおける看護の機能強化への取組

ポイント 在宅ケア推進委員会において多職種間の連携の現状を踏まえ、効果的な取組を検討

I-3 看護業務の質の向上に関する事業

(1)保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ各職能委員会の活動

ポイント 4職能委員会は専門領域での地域における連携について検討

職能間での専門領域における連携上の課題解決に向けての取組（常任委員会と連携した活動）

(2)母子のための地域包括ケアシステムの推進に向けた取組

ポイント 助産師職能委員会を中心に、他の職能委員会等と連携して進める

重点方針Ⅱ 看護職の確保と定着の促進

【事業概要】

山口県内の看護職員就業者は24,889人（令和6年12月末現在）で、2年前と比較すると170人の微減となっている。職種別では保健師810人（27人増）、助産師398人（13人減）、看護師18,541人（314人増）、准看護師5,140人（498人減）（衛生行政報告例）。

本県では、地域や就業場所による偏在が顕著であり、県北部の看護職員不足や小規模病院・介護施設・訪問看護ステーション・教育機関の看護職確保が課題となっている。また、大規模災害や新興感染症等が拡大した場合の健康危機管理体制強化のためにも看護職確保が必要である。

今後も潜在看護職の活用による看護職の確保を図るため、再チャレンジ研修の充実をはじめ、きめ細やかな復職支援を行うとともに、退職時の届出制度の一層の周知を図り、求職者や求人施設のe-ナースセンターへの登録を推進していくことで、危機時にも役立つシステムとして定着させる必要がある。

また、少子超高齢化の進展が加速し、2040年には現役世代（担い手）が急減する見込みである中、看護職員の確保定着の取組が喫緊の課題になっている。離職中、定年退職後や定年退職を控えた看護職がこれまで培ってきた知識と経験を活かし、新たなキャリア人生を充実させ、働き続ける意識を醸成することで看護職の確保を図るため、セカンドキャリア活躍推進事業を進めていく。

【重点事業】

Ⅱ-1 新看護基礎教育体制強化事業

- ・看護教員確保のための周知啓発
- ・県内の看護教員と看護管理者等とのネットワークづくり
- ・看護教員のための教育相談（ナースのお悩み相談室）

Ⅱ-2 ナースセンター事業（県委託）

- ・無料職業紹介（看護職員・看護補助者）
- ・離職者・未就業者届出サポート
- ・再チャレンジ研修
- ・就業コーディネーターの配置
- ・ナースのお悩み相談室
- ・看護師等就業協力員の育成
- ・プレナース発掘事業
- ・看護職員再就業支援相談会
- ・看護補助者の確保・定着推進事業

ポイント 看護管理者や看護職に対して退職時の届出制度「とどけるん」の周知活動、病院等との連携強化

潜在看護職へのきめ細かい復職支援

Ⅱ-3 地域の実情に応じた看護職確保推進事業（日本看護協会委託）

(1)セカンドキャリア活躍推進事業

ポイント 人材活用バンク「きらめきナース」の充実（キャリア相談、求人施設の開拓）

セカンドキャリアセミナー、交流会、

(2)看護学生・潜在看護職を対象としたナースセンターの周知の取組

【他事業】

- ・働き続けられる職場づくり推進事業
- ・医療勤務環境改善アドバイザーの派遣

重点方針Ⅲ 生涯学習支援等による看護の質の向上

【事業概要】

看護職の活躍する領域や場の多様化が進む中、看護職は変化する社会のニーズに合わせて、新たな知識や技術を学び直し継続的な学習に主体的に取り組み、能力の向上に努める必要がある。看護職自身のためまぬ努力とともに、生涯にわたって継続的に自己研鑽できるよう、職能団体として行政や関係者と協力して環境の整備に努め、継続した学習を積み重ねられるよう生涯学習支援のための企画・運営を行う。

看護の専門性を十分に発揮し、安定的で質を確保した看護の提供のため、認定看護師等が専門性を活かして地域で活躍できる場を広げ、地域のニーズとのマッチングなど、地域住民の健康づくりに貢献するためのシステムをつくり上げ、地域全体の健康レベルの向上に資する事業を展開していく。

【重点事業】

Ⅲ-1 研修・研究等に関する事業

- ・一般教育研修
- ・准看護師の生涯学習支援
- ・認定看護管理者教育（ファーストレベル、サードレベル）
- ・新人看護職員研修事業（県委託）
- ・助産実践能力向上事業（県委託）
- ・実習指導強化推進事業（県委託）
- ・助産師出向支援導入事業（県委託）
- ・看護職員認知症対応力向上研修（県委託）
- ・医療安全推進事業
- ・第26回山口県看護研究学会の開催

Ⅲ-2 認定看護師等活躍推進事業（県委託）

- 【ポイント】 ・専門看護師・認定看護師、看護管理者等の交流会を通じて、地域課題の共有を図り、解決に向けて検討
- ・専門看護師・認定看護師登録制度システムを稼働させ、地域の健康課題を解決
 - ・特定行為研修修了者の活躍による重症化予防

Ⅲ-3 県立総合医療センターや山口大学大学院医学系研究科看護実践教育センターと連携した教育研修体制の構築

看護人材の確保とその育成に関する連携協定に基いた教育研修体制の構築

重点方針Ⅳ 組織力の強化

【事業概要】

組織力の強化を図る上では、支部活動の充実、会員の確保、協会立訪問看護ステーションの安定した運営、

迅速な情報発信、本協会の体制整備等が必要である。

看護協会は看護職ひとりの力では解決できない現場の「困った」を、組織の力を活かして調査・研究に基づいた国・県への要望や政策活動を行い、制度化につなげ、現場の「困った」を解決するとともに、看護の質の向上・看護職が働き続けられる環境づくり・看護領域の開発、展開と3つの使命を掲げて「人々の健康な生活」を実現していく組織であることをより多くの看護職や看護学生に周知する。

現在、本協会の会員数は、令和元年度をピークに漸減しており、入会率は就業者数の約4割にとどまっている。会員数の減少に歯止めをかけ増加に転じていくため、入会促進に関する活動を全会員で取り組んでいく。

また、未来の看護職確保に向けて、小中高校生や教員、保護者に看護の魅力を伝え、進路選択で看護大学等への進学を選択してもらうよう、県内の看護教育機関の情報提供や、看護職に看護協会の存在意義、役割等を周知していくため、広報力の強化に向けた取組や効果的な情報発信が必要となる。令和6年度に実施した「PR バス企画のDVD」を活用した看護の日・看護週間事業やSNSによる情報発信等を進める。

【重点事業】

IV-1 組織運営に関する事業

- ・支部活動の充実
- ・協会立訪問看護ステーションの安定的な運営
- ・入会促進に向けた活動

ポイント 看護師等学校養成所への訪問による入会案内及び記念品贈呈

未入会施設及び会員減少施設への訪問による入会案内や再入会の呼びかけ等の入会促進強化

IV-2 広報活動事業

- ・看護の普及啓発事業
- ポイント** キャラクター「山口県かんごちゃん」を活用し、各地区支部における広報活動を促進
- ・会報「きらめき」やSNSによる情報発信の強化と山口県看護協会ホームページの充実
- ポイント** LINEによるスピーディーな情報発信と友だち登録の増加

【他事業】

- ・財務の健全運営の取り組み
- ・会員の福祉及び相互扶助に関する事業
- ・他団体との連携

重点方針Ⅴ 地域における健康危機管理体制の強化

【事業概要】

看護職は、コロナ禍の最前線でリスクと対峙しながらも、専門性を発揮しその役割を果たしてきた。今後も、新たな新興感染症や大規模災害等の発生が予測される中、更なる健康危機管理体制の整備と強化が望まれる。

令和5年度の感染症法及び医療法の改正に伴い、災害・感染症発生時に都道府県知事の求めに応じて派遣される仕組みが法定化され、災害支援ナースは「災害・感染症医療業務従事者」として位置付けられた。この新たな仕組みによる応援派遣体制を構築するため、令和5年度から自然災害と新興感染症に対応できる新災害支援ナース養成を開始するとともに、リスト管理をして、応援派遣調整の体制整備を進める。また、有事における旧災害支援ナースの活用についても検討する。

また、住民一人ひとりにとっての健康危機に対して、健康に関する相談や予防啓発を行うことにより、安心・安全な体制づくりを行う。

【重点事業】

V-1 災害支援ナース活動支援体制整備事業

- ・新災害支援ナース養成研修の開催及び修了者リスト管理、フォローアップ研修の開催
- ・応援派遣調整体制の確立
- ・日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練、山口県総合防災訓練等への参加

ポイント 県行政等関係機関との健康危機管理体制強化のための協働

V-2 人々の健康及び福祉の増進に関する事業

- ・健康に関する相談・周知・啓発等の事業
- ・がん総合相談窓口の運営（県委託）

定款第4条の8つの事業に沿った事業計画

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項	
(1)一般教育研修の実施	一般教育研修 27コマ28日
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 105時間 20日間 ②認定看護管理者教育課程サードレベル 180時間 32日間 ③フォローアップ研修(ファーストレベル・サードレベル)
(3)新人看護職員研修事業 (県委託)	①検討会 2回程度 ②研修責任者研修 4日程度 ③教育担当者研修 6日程度 ④実地指導者研修 5日程度
(4)助産実践能力向上事業 (県委託)	①新人助産師研修 6日 ②中堅助産師研修 5日程度
(5)実習指導強化推進事業 (県委託)	①検討会 2回 ②実習指導者養成講習会 33日程度 ③実習指導者と看護教員の相互研修 2日間 ④実習指導アドバイザー派遣 3回程度
(6)看護職員認知症対応力向上研修(県委託)	①検討会・打合せ会 5回程度 ②看護職員認知症対応能力向上研修 3日間 2回
(7)看護基礎教育体制強化事業 (県委託)	看護教員のための相談(ナースのお悩み相談室)
(8)その他研修	①看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2回 ②外来における在宅療養支援能力向上のための研修 1回 ③認知症高齢者の看護実践に必要な知識 3回
(9)委員会	①教育委員会 10回程度 ②認定看護管理者教育運営委員会 4回程度
(10)日本看護協会との連携	全国看護基礎教育担当者会議 1回
2)医療安全推進事業	
(1)医療安全管理者の養成および 実践能力向上のための研修	①医療安全管理者養成研修 1回 オンデマンド35時間+集合研修5時間 ②医療安全管理者スキルアップ研修 1回
(2)医療安全推進事業	医療安全啓発 ・医療安全情報 会報「きらめき」掲載 ・医療事故調査制度等を施設管理者へ情報提供

事業項目	主な事業内容
(3)医療安全管理体制の構築・充実	・「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の・啓発・普及活用促進 ①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援 圏域代表との意見、情報交換 1回 ②医療安全管理者交流会の開催 2回
(4)看護職賠償責任保険の加入促進	看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・実習を伴う講習会受講者への加入促進
(5)委員会	医療安全推進委員会 6回 内、1回は圏域代表を招聘しての会議
(6)日本看護協会との連携	医療事故調査制度に関する情報交換会への参加 1回
3)学会等学術振興に関する事業	
(1)山口県看護研究学会開催	第26回山口県看護研究学会 R9.3.6
(2)委員会	学会委員会 6回
(3)日本看護協会との連携	第57回日本看護学会学術集会 R8.9.18～20 岡山県コンベンションセンター
4)図書室運営に関する事業	
(1)図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 ②図書貸出 ③文献検索(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌)
(2)日本看護協会との連携	①譲渡図書の受入 ②最新看護索引Web機関版の利用 ③都道府県看護協会図書室担当者研修会 1回

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)ナースセンター事業	
(1)ナースセンター運営協議会 (県委託)	協議会開催 1回
(2)再チャレンジ研修 (県委託)	①再就業支援研修(地域施設研修) ・研修協力施設 21施設 ・研修 随時実施 ・研修期間 3～5日程度 ②集合研修 3回 ③調整会議 1回 ④広報

事業項目	主な事業内容
(3)演習器材の貸出 (県委託)	①器材の貸出 ・対象：看護職員を配置する施設 ・貸出器材8種 ②個人の技術演習 ・対象：技術演習の希望者 ・演習日：4回/月(毎週金曜日) ・演習項目：採血・注射・吸引・心肺蘇生など ③広報
(4)無料職業紹介 (県委託)	①第7次NCCS(ナースセンター・コンピューター・システム)の運用 ・看護職員、看護補助者の無料職業紹介 ・求人施設・求職者の登録 ・求人・求職情報の更新、情報提供 ・求職者に対する相談 ・NuPS(看護職のためのポータルサイト)の運用、周知 ②ナースセンター・ハローワーク連携事業 ・連携事業連絡調整会議2回 ③その他 ・事業の広報 ナースセンターだよりの発行、協会ホームページ、県ホームページ、市町広報、メディア等
(5)看護補助者の確保・定着推進事業(県委託)	①ハローワークとの連携強化 ハローワーク連携調整会議2回 就職面接会、個別相談会の参加 施設見学、職場体験会 ②広報 「看護補助者の就業に向けた研修」案内
(6)就業コーディネーターの配置 (県委託)	①ハローワークでの出張相談、就業支援 ・岩国、徳山、山口、防府、宇部、萩、下関 月1回実施 ・柳井、下松、長門 隔月1回実施 ②再就業にあたり看護技術等の再習得を希望する者に対する研修調整 ③求人施設等への訪問 ④調整会議3回
(7)看護職員再就業支援相談会 (県委託)	①相談会の開催 県内8会場 (ハローワークと合同開催) ・対象：再就業を希望する者 ・参加施設：中小規模の医療機関や訪問看護ステーション、施設等 ②相談会のあり方検討会 2回 ③看護補助者の説明会・研修会等 ④ハローワークとの連携強化
(8)ナースのお悩み相談室 (県委託)	①相談、就業支援 ②広報
(9)看護師等就業協力員の育成 (県委託)	①看護師等就業協力員研修会の開催 1回 ②就業協力員の活動として学校訪問への支援

事業項目	主な事業内容
(10)プレナース発掘事業 (県委託)	①看護PRリーフレットの作成・配布 看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布 ②看護の魅力発見 ・看護の魅力発見の開催 対象：小学生、中学生、高校生、保護者、看護に興味がある人 施設：3か所程度 内容：ワークショップ、ミニナース体験、看護の進路相談、看護のお仕事相談 ・事業検討委員会 2回 ③1日ナース体験 ・対象：中学生、高校生 ・期間：夏休み期間 ・施設：県内病院、看護師等養成施設等 ④看護職員の学校訪問 ・学校訪問の実施 対象：中学生、高校生やその進路指導を行う教員等 内容：・看護の仕事や看護職となるための方法について普及啓発 ・次世代ナース確保の重要性に関する講話 ・職業講話 ・若年層への情報発信の強化
(11)離職者・未就業者届出サポート (県委託)	①届出について病院との連携体制の整備・強化 ②届出制度の広報 ③相談対応、登録サポート ④届出者への情報提供
(12)会議等への出席	①職業紹介責任者講習(全国民営職業紹介事業協会) ②山口県看護職員確保対策協議会
(13)日本看護協会との連携	①都道府県ナースセンター事業担当者会議(中央ナースセンター) ②都道府県ナースセンター相談員研修(中央ナースセンター) ③都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会中国・四国ブロック ④都道府県ナースセンター地域に必要な看護職確保推進事業説明会
2)働き続けられる職場づくり 推進事業	
(1)働き続けられる職場づくりの 啓発・支援	①労働環境支援委員会 4回 ②看護職員就労定着支援事業 研修会 2回 ・働き続けられる職場づくり研修会 R8.9.30 10:00~16:00 対象：5年目以上の看護職 ・セカンドキャリア活躍推進研修会R8.12月頃 対象：セカンドキャリア世代
(2)日本看護協会との連携	看護労働担当者会議Web R8.7月下旬予定
(3)医療勤務環境改善に関するア ドバイザー派遣業務 (県委託)	県医療勤務環境改善支援センターから依頼を受け、支援対象機関に働き方等に関するアドバイザーを派遣

事業項目	主な事業内容
3)地域の実情に応じた看護職確保推進事業(日本看護協会委託) (1)各地域における看護職確保(ナースセンターの利用促進) (2)ハローワークと連携した求人充足支援 (3)セカンドキャリア活躍推進事業	①ホームページの充実、改修 ②リーフレット等作成、配布 ③学校訪問 ①訪問看護ステーション訪問 ②求人登録、ハローワーク連携の案内 ①「セカンドキャリア人材バンク」の充実(キャリア相談等) 「きらめきナース」活躍推進 ②求人施設の開拓 施設訪問 ③セカンドキャリア活躍推進研修会・交流会等 R8.12月頃

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護業務の質の向上に関する事業 (1)保健師職能委員会 ア 保健師の連携強化及びネットワークの構築 イ 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 ウ 会員増加の推進 (2)助産師職能委員会	①保健師職能委員会6回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会2回 ④地区別保健師職能委員長会 R8.11.6 ①保健師職能集会の開催 ②保健師職能交流会の開催 ③支部委員との連携強化としての合同会議を開催し情報交換 ④ひたむきな保健師取材、会報「きらめき」掲載 3回 ⑤ホームページ、会報「きらめき」による情報発信 ①研修会・交流会の実施 ②一般教育研修計画への参画 ①保健師職能集会や交流会の開催 ②リーフレット、会員勧誘チラシ改訂版の活用 ③ホームページ、会報による情報発信 ①助産師職能委員会7回 ②支部職能委員との合同会議2回 ③全国職能委員長会2回 ④地区別助産師職能委員長会R8.11.6

事業項目	主な事業内容
ア 周産期医療の現状と課題の把握	①職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 ②中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 ③保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出
イ 助産実践能力向上事業 (県委託)	①新人助産師研修の企画・運営・評価 ②助産実践能力向上中堅助産師研修の企画・運営・評価 ③CLoCMiPレベルⅢ認証研修の導入・活用推進
ウ 母子のための地域包括病棟の推進	ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営の推進
エ 災害時の対応	周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてタイムリーな情報提供・情報交換
オ 広報活動	①イベント等での助産師の普及活動 ・看護の日・国際助産師の日 ・いいお産の日 ・ホームページ等へ記事投稿 ②PRリーフレットの活用
カ 3職能4委員会との連携強化	①母子のための地域包括ケアシステムの深化に向けての、ネットワークの構築 ②地域における看護力強化に向けた連携推進のための検討会への参加 ③女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握
(3)看護師職能委員会Ⅰ	①看護師職能委員会Ⅰ9回 ②支部看護師職能Ⅰ委員との合同会議2回 ③看護師職能委員会Ⅱとの合同会議4回 ④全国看護師職能委員長会Ⅰ2回 ⑤地区別看護師職能委員長会Ⅰ1回
ア 看護実践能力の向上	看護職の生涯学習支援の推進に向けた活動 ・看護職の生涯学習支援に関する研修会の開催
イ 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携と継続看護の推進	①在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組み ②看護師職能委員会Ⅱとの連携強化 合同会議の開催による情報交換、情報共有
ウ 支部看護師職能Ⅰ委員との連携強化	①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能委員長会Ⅰの課題について意見集約
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同)1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
オ 日本看護協会との連携	①全国看護師職能委員長会Ⅰ2回 ②地区別看護師職能委員長会Ⅰ1回
(4)看護師職能委員会Ⅱ	①看護師職能委員会Ⅱ9回 ②支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議(10月・3月)2回

事業項目	主な事業内容
	③看護師職能委員会Ⅰとの合同会議4回 ④全国看護師職能委員長会Ⅱ2回 ⑤地区別看護師職能委員長会Ⅱ1回
ア 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進	介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)の開催15施設(8～11月)
イ 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約	①看護師職能Ⅱ交流会開催1回 ②全国看護師職能委員長会Ⅱ2回 ③地区別看護師職能委員長会Ⅱ1回 ④看護師職能Ⅱ領域の看護職のマネジメントに関する課題解決に向けた検討 ⑤看護師職能Ⅱの看護人材の確保に向けたさらなる情報収集と課題抽出
ウ 3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化	①3職能4委員会及び在宅ケア推進委員会との合同会議1回 ②看護師職能委員会Ⅰとの合同会議4回 ③支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議2回
エ 看Ⅱ領域の魅力発信及び会員増加に向けた情報収集・課題発見	①看Ⅱ領域の魅力とその発信についての検討 ②看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同)1回 ③会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
(5)職能集会	①保健師職能集会1回 ②助産師職能集会1回 ③看護師職能集会1回
(6)看護制度委員会	看護制度委員会6回
ア 准看護師の資質向上とキャリア形成の推進	①准看護師のスキルアップに繋げていけるような研修会の企画運営 ②看護師養成課程への進学や利用できる制度に関する情報提供
イ 看護基礎教育を考える会の開催	看護基礎教育の現状や課題について、理解を深め県内の教育体制のネットワークを構築するための研修会を開催
ウ 日本看護協会との連携	全国看護基礎教育担当役員会議1回
エ 広報活動	会報「きらめき」、協会ホームページへの活用、広報・活動報告
(7)助産師出向支援導入事業(県委託)	①助産師出向支援の実施 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催2回 ③助産師出向に関する調査の実施 ④助産師出向支援導入事業研修会の開催
(8)認定看護師等活躍推進事業(県委託)	①研修会の開催 ②認定看護師等の登録・派遣についてのシステム構築、運用

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)訪問看護提供体制推進事業 (県委託) (1)施策推進体制の確立 (2)専門職による相談対応 (3)訪問看護師育成支援 ア 訪問看護師の看護実践能力の向上 イ 看護職間の相互理解、連携強化の取り組み (4)人材の確保 (5)山口県訪問看護実態調査	①山口県訪問看護推進協議会1回 ②訪問看護提供体制推進検討会を設置し、訪問看護総合支援センターの運営や教育に関することを検討 ・運営に関する検討会3回 ・教育関係(研修会等)に関する検討会5回 訪問看護事業所開設者や管理者等を対象とした相談窓口を設置 ・事業所の開設、運営等に係る相談対応 ・人材確保、人材育成に係る相談対応 ①訪問看護研修ステップ1(訪問看護初任者研修)の企画・実施 訪問看護eラーニング+集合研修8日間+実習3日間 ②訪問看護スキルアップ研修の企画・実施 訪問看護師対象4回、管理者対象2回 ③新卒・新任訪問看護師育成ガイドラインの作成 ①訪問看護研修ステップ1の公開講座 ②訪問看護実践研修への参画、提言 ①ナースセンターと連携した人材確保の促進 ・潜在看護師、プラチナナース等の就業促進 ・若手看護師確保に向けた取組の実施 ・離職防止対策の検討 ②訪問看護未経験者を対象とした研修 ・ <u>新</u> 1日訪問看護体験の企画・実施 訪問看護ステーションで訪問看護の体験1日 ・訪問看護入門研修の企画・実施 集合研修1日+訪問看護ステーション実習1日 ③ <u>新</u> 地域の看護管理者と自治体統括保健師等の連携強化事業 ・研修会等の企画・実施 訪問看護に関するアンケート調査により、県内の訪問看護の実態把握と課題の抽出
2)地域連携における看護の機能強化事業 (1)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (県委託 訪問看護実践研修を含む)	支部圏域の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設の看護管理者、地域連携担当者、訪問看護事業所管理者、地域包括支援センター保健師、行政保健師、居宅介護支援事業所等の相談関係機関担当者等による検討会を設置 ①検討会の開催2回 ②研修会・交流会等の開催1回

事業項目	主な事業内容
(2)在宅ケアの推進	①在宅ケア推進委員会5回 ②3職能4委員会意見交換会1回
ア 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取組	①情報提供書の書き方ガイドの活用及び看看連携の促進を目的とした研修会の企画・実施 ②職能委員会、常任委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業との情報提供、意見交換を目的とした会議の開催
イ 在宅ケアに係る看護の実践能力の向上および連携推進	①山口県訪問看護推進協議会の委員として出席 ②情報提供、意見交換を目的とした3職能4委員会との会議の開催
(3)日本看護協会及び関係団体との連携	①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②関係団体との連携協力 ③看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議への参加1回
3)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営	①経営目標に基づく安定した事業の実施 ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催2回 ②質の高い訪問看護サービスの提供 ・BCP訓練・研修 年1回(感染・災害) ・ハラスメント委員会・研修 年1回 ・高齢者虐待防止委員会・研修 年1回 ・感染症予防(標準予防策の徹底) ・訪問看護サミット2026への参加 ・日本看護学会在宅看護への参加 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催12回 ③訪問看護に関わる関連団体との協力 ・訪問看護総合支援センターとの連携 ・看護学生などの実習受け入れ ・関係団体との連絡調整・会議 ・市町・社会福祉協議会・難病ネットワーク・地域ケア会議などへの参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携 ④広報活動 ・協会ホームページ ・地域行事参加 訪問看護PRチラシ配布

事業項目	主な事業内容
4)健康相談・啓発等の事業 (1)「まちの保健室」活動の実施 (2)「国際助産師の日」活動支援 (3)がん総合相談窓口の設置 (県委託) (4)関係機関との連携による県民の健康に関する普及啓発	①各支部の「まちの保健室」担当者会議の開催 1回 ②健康相談や健康増進に関する普及啓発グッズの配布 ③健康フェア等への出展 ④関係機関との連携推進 各支部助産師職能活動支援(リーフレット作成、物品整備) ①相談窓口の設置 ②看護職による相談支援 他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援 ③がん相談支援スキルアップ研修会参加 ④相談窓口の積極的な利用促進に向けての広報活動 ・循環器病対策県民フォーラムやリレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐち等への参加
5)災害支援ナース活動支援体制整備事業 (1)災害支援ナースの養成および資質向上のための支援 (日本看護協会及び県委託) (2)災害支援活動体制の整備、充実 (3)平常時の防災活動の推進 (4)日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働 (5)委員会	①災害支援ナース養成研修会開催1回 e-ラーニング(オンデマンド研修)20時間 + 集合研修2日間 ②災害支援ステップアップ研修1回 ③災害支援ナースの登録・変更(県・日本看護協会) ④災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動 ①災害支援ナースの活動体制の整備・充実 医療法・感染症法改正後の災害支援派遣要綱等の改定 ②災害支援活動に関する資機材の整備 ③災害支援ナース指導者の育成 ①山口県総合防災訓練等への参加 ②災害支援物品の整備 ①都道府県看護協会健康危機管理担当者会議Web1回 ②行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携 災害支援委員会6回
6)看護の普及啓発事業 (1)看護の日・看護週間行事開催 (2)看護のPR	①2026年度「看護の日・看護週間」イベント開催 ②会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事の開催 ③「ふれあい看護体験」を学生等を対象として会員施設で開催 ④「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布やポスターの掲示 ①やまぐち未来のしごとフェスタ出展 ②みらいWalker★UBE出展 ③県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち出展 ④やまぐちJOBフェスタ出展

5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

(公益事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1)日本看護協会との連携強化事業 (1)諸会議への出席 (2)日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	①通常総会 R8.6.10 ②理事会 6回程度 ③法人会員会 5回程度 ④地区別法人会員会 R8.11.5 ⑤代議員研修会 R8.5.23 ⑥都道府県看護協会政策責任者会議 R8.8.27 ⑦会員情報管理情報交換会 R8.7.2 ⑧都道府県看護協会広報担当役員会議 R8.11.19 ⑨全国職能別交流集会 R8.6.11 ⑩全国職能委員長会 R8.8.5、R9.3.12 ⑪地区別職能委員長会 R8.11.6 ⑫看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議Web R8.11月上旬予定 ⑬ナースセンター事業担当者会議Web R8.4.15 ⑭全国看護基礎教育担当役員会議Web 1回 ⑮都道府県看護協会健康危機管理担当者会議Web 1回 ⑯都道府県看護協会看護労働担当者会議Web R8.7月下旬予定 ⑰都道府県看護協会教育担当者会議Web R8.9.2 ⑱都道府県看護協会図書室担当者研修会Web R8.7月中旬予定 ⑲医療事故調査に制度に関する情報交換会Web 1回

6 施設の貸与に関する事業

(公益事業 / 収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1)研修会館の貸与事業 (1)公益目的使用への施設の貸与	本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し、会議室等を低廉な料金で賃貸

7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業

(収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)福利・厚生事業	①名誉会員制の継続 ②各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③山口県看護協会会長表彰及び特別会長表彰の実施 ④傷病見舞、罹災見舞、休業見舞、死亡弔慰金等の支給 ⑤会報「きらめき」発行 ⑥レジャー施設等優待、割引

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益事業／収益等事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1) 支部活動事業 (1) 支部活動の推進 2) 組織運営に関する事業 (1) 適正な財産運営 (2) 各種事業運営 (3) 看護政策推進のための組織強化事業 3) 広報活動事業 (1) 広報活動 (2) 各種情報提供 4) 他団体との連携 (1) 看護教育機関との連携	① 支部活動の運営(※公益/収益等/法人) ② 支部運営会議による協議 ① 健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営 ① 通常総会(※法人) R8.6.20 ② 理事会(※法人) 7回程度 常務理事会(※法人) 5回程度 監査会(※法人) 2回程度 ③ その他事業(各種会議)(※法人) ・ 支部運営会議 3回程度 ・ 推薦委員会(※法人) 5回程度 ・ 選挙管理委員会 1回程度 ・ 他、各種会議(※法人) ① 地域の政策力強化(※法人) ・ 認定看護管理者会への参加 ・ 看護職員就業施設訪問 ・ 看護管理者会議によるネットワーク強化 ② 看護協会入会促進 ・ 入会促進用パンフレットの配布等による周知活動 看護学校・訪問看護ステーション・福祉介護施設等 ・ 看護学校訪問 入学式・戴帽式・卒業式等 ・ 看護学校卒業生への啓発活動 ① 会報「きらめき」発行(※公益/収益等) ・ 年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ資料配布 ・ 委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ② ホームページの更新、活用(※公益/収益等) ・ 研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター、訪問看護総合支援センター情報等を掲載 ③ SNS(LINE)による情報発信 ① 会員増加の推進(※収益等/法人) ・ 会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・ 看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・ 「山口県看護協会入会のご案内」「日本看護協会入会のご案内」「日本看護協会事業案内」を入会希望施設、未入会施設に配布 ② タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人) ・ 通送便 1回/月 ・ 印刷物等配布 ① 入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人)

事業項目	主な事業内容
(2)看護関連政策の推進	②見学・実習の受け入れ(※公益) ③卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人)
(3)他団体との共催行事	①要望・事業提案(※法人) ・行政機関、公益社団法人日本看護協会等 ・山口県看護連盟との連携 ①医療関係団体新年互例会(※法人) ②研修会等の後援 ③研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載

令和8年度 支部事業計画

岩国支部事業計画

活動目標	1) 全世代を対象とした地域における看護力の強化と看護職の連携 2) 地域における健康増進活動の推進 3) 支部活動を通して組織力の強化を図る
支部集会	日 時：R8.7.18午後 会 場：国立病院機構岩国医療センター 研修センター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 ① 教育委員会研修1回 ② 職能委員会研修1回 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 開催担当 岩国支部 日時：R9.2.6 (予定)
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1) 看護の日及び看護週間行事の開催 (2) 各施設で日時を設定し実施 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室開催2回(地域行事への参加含む) (2) 国際助産師の日事業1回 (3) 進路相談 各施設で実施 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会3回 研修会1回(職能委員会研修と共同開催)
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 看護職交流会1回 2) 表彰候補者の推薦と表彰者のお祝い
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席(支部長他) (2) 看護学校入学・卒業式・継灯式 祝電 2) 支部組織の強化 (1) 支部集会1回 (2) 支部役員会6回 ※支部委員会同時開催 3) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿 (2) 県協会ホームページへの投稿 4) 会員確保の働きかけ

柳井支部事業計画

活動目標	1 地域包括ケアシステムで住民の暮らしを支えるための看護・介護連携および看護力を強化する 2 将来の看護師確保のための取組を行う 3 各施設における看護協会会員数を令和7年度より増加させる
支部集会	日時：R8.7.4 14時～ 会場：周東総合病院
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 R8.7.4 支部集会前に開催 会場：周東総合病院 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 R9.2.6 13時～16時 岩国支部主催 出席者を令和7年度より増加させる
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 (1) 県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけを行う 2) 看護師確保と定着の推進 (1) 看護学校3校に入学式・卒業式の祝電を打つ (2) 「柳井保健医療圏 看護管理者情報交換会」を活用し、柳井保健医療圏内で看護師を定着させる
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1) 柳井支部訪問看護ステーション等見学実習(検討会2回) 受講者を令和7年度(8人)より増加させる 2) まちの保健室 (1) 地域の祭りやイベントに行政と連携して4回以上実施予定 (2) 認定看護師(認知症看護、摂食・嚥下障害看護等)相談コーナーを設置 3) 「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1) 各施設の取組についての情報交換を行う (2) (1)を令和8年度の取組に活かすとともに、実施した取組結果を共有する 4) 健康相談・啓発等の事業 (2) 国際助産師の日事業 イベント1回予定
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 表彰候補者推薦の呼びかけを支部役員会にて行う
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部役員会及び支部委員会の定期開催(6回)と内容の充実 2) 看護協会への入会促進(看護師職能委員会を中心に実施) (1) 支部役員会にて各施設の入会状況を共有し問題点を検討する (2) 各施設でリニューアルした入会案内を活用し、取組計画を実践する

周南支部事業計画

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化と看護力の向上 2) 看護の質の向上と組織力の強化
支部集会	日時：R8.7.4 会場：スターピアくだまつ 会議室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 ① 教育委員会研修1回 ② 職能委員会研修1回 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 開催担当：岩国支部 日時：R9.2.6
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり ① 県協会労働環境支援委員会の研修参加への呼びかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1) 各施設で日時を決定して実施、ポスター掲示及びグッズの配布 2) 健康相談・啓蒙活動の事業 (1) まちの保健室3回 (2) 国際助産師の日事業 ① イベント「いいお産の日」1回 (3) 進路相談 ① 各施設で実施 (4) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ① 検討会3回 ② 研修会1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 会員への福祉厚生等に関する事業 (1) 表彰候補の推薦 (2) 山口県優良看護職員知事表彰の推薦 2) その他事業 (1) 管理者交流会1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／ 法人)	1) 支部集会1回 2) 支部役員会4回 3) 支部委員会 (1) 職能委員会6回 (2) 教育委員会6回 (3) 推薦委員会1回 (4) 選挙管理委員会1回 4) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」へ投稿 (2) 県協会ホームページへ投稿 5) 地域会議への出席 (1) 周南医療圏地域医療構想調整会議2回 (2) あ・うんネット周南ワーキング会議5回 研修会2回 など

防府支部事業計画

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化と看護力の向上 2) 地域における健康増進活動の推進
支部集会	日 時：R8.7.4 会 場：山口県看護協会 本館 大研修室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 教育委員会・職能委員会 支部研修2回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ (2) 看護職の人材確保・就業支援 ① 病院紹介や進路・就業相談 ② 看護学校と情報交換を行い市内への就業促進を行う
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1) 看護の日及び看護週間行事の開催 1回 ① 山口県立総合医療センターでのイベントに参加し、健康相談やリーフレットや グッズ等を配布 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室開催 3回 (2) 国際助産師の日事業 ① 国際助産師の日イベント 1回 (3) その他の事業 ① 地域行事での救護協力 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進の強化事業 ① 検討会 2回 ② 研修会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 表彰候補者の推薦 2) 支部交流会 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部役員会 5回 開催 2) 支部委員会 (1) 職能委員会 1回 (2) 教育委員会 2回 (3) 推薦委員会 1回 (4) 選挙管理委員会 1回 3) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿 (2) 協会ホームページへの投稿

山口支部事業計画

活動目標	1)在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携を図る 2)地域活動等を通して、地域住民の健康増進を図る 3)看護職の確保と定着を図る
支部集会	日 時：R8.7.11 会 場：山口県健康づくりセンター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)教育委員会 ①教育委員会企画研修会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会主催事業への協力 (2)看護職の人材確保・就業支援
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び看護週間行事開催 各施設で実施 2)「まちの保健室」開催 3回 3)「国際看護の日」事業「いいお産の日」イベント 1回 4)進路相談実施 各施設・まちの保健室 5)在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会 3回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1)講演会(支部集会後) 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部組織の強化に関する事業 (1)支部活動の充実 ①地域会議への出席 ②看護学校関連事業参加 2)支部運営に関する事業 (1)支部役員・委員合同会議 1回 (2)支部役員会 5回 (3)支部委員会 ①職能委員会 5回 ②教育委員会 5回 ③推薦委員会 5回 ④地域連携推進委員会 5回 ⑤選挙管理委員会 2回 3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿

宇部支部事業計画

活動目標	1) 地域における看護力の強化と連携を図り看護の質の向上を目指す。 2) 地域における健康危機管理体制の強化を図り、人々の健康を守る。
支部集会	日 時：R8.7.18 会 場：山口宇部医療センター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 一般教育研修 (1) 支部教育研修 開催日調整中 テーマ：災害関連・ACP・褥瘡の内容で検討中 グループワーク形式
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場作り ① 県協会主催事業への協力、研修参加への働きかけ ナースセンター事業の周知
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1) 各施設で看護の日・看護週間行事を開催 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) 「まちの保健室」の定期開催、他イベントに参加 健康相談・健康チェック・特定健診、がん検診の啓発、リーフレットの配布 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修(小野田支部と合同) (1) 検討会開催2回 (2) 訪問看護見学実習 テーマ：「在宅を知る・実際を見る・新たな学び」
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1) 会員への福利・厚生事業 (1) 三職能合同研修会 開催日：R8.7.18 テーマ：自宅で出来るストレッチ、健康と美容に向けた筋活のすすめ(仮) 講師：独立行政法人国立病院機構関門医療センターリハビリテーション科
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部集会 R8.7.18 2) 支部役員会6回 3) 支部委員会 教育委員会5回、職能委員会5回、推薦委員会2回、選挙管理委員会1回 4) 広報活動 (1) 県協会会報「きらめき」への投稿 5) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席 (2) 看護学校関連事業参加

小野田支部事業計画

活動目標	1) 地域における看護力の強化と連携 2) 地域における健康危機管理体制の強化
支部集会	日 時：R8.7.11 10：00～11：00 会 場：美東交流センター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 一般教育研修 (1) 支部教育研修会2回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会主催事業への協力 (2) 看護職の人材確保・就業支援 ① 看護学校との情報交換 ② 進路・就業相談
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び看護週間PR事業 (1) 各施設で「看護の日」及び看護週間行事を実施 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) 「まちの保健室」開催 3回(地域行事への参加を含む) 3) 進路相談 (1) 各施設・まちの保健室で実施予定 4) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 (1) 検討会 3回 (2) 訪問看護ステーション実習予定
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 会員への福利厚生に関する事業 (1) 表彰候補の推薦
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部組織の強化に関する事業 (1) 地域会議への出席 (2) 看護学校戴帽式・卒業式への臨席 2) 支部委員会 (1) 支部役員会 4回 (2) 教育委員会 4回 (3) 職能委員会 4回 (4) 推薦委員会 1回 (5) 選挙管理委員会 1回 3) 広報活動 (1) 県協会会報「きらめき」への投稿

長門支部事業計画

活動目標	1) 地域における看護職の連携と看護力の強化 2) 健康増進活動の推進・療養支援体制の強化
支部集会	日 時：R8.7.16 会 場：長門市地域医療連携支援センター2階研修室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修1回 (2) WEB研修2回 (3) 職能研修会1回 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 支部看護研究指導 (2) 看護研究発表会
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 2) 看護管理者会議 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議1回
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」、看護の日・看護週間で施設毎に実施 2) まちの保健室 3) 国際助産師の日事業：「助産師まつり」 4) 進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施 5) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会2回、研修会1回の実施
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 表彰候補者の推薦 2) 地域の看護職員交流会
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席(支部長他) (2) 看護学校入学式・卒業式臨席 2) 支部集会 3) 支部役員会2回 4) 支部委員会 (1) 職能委員会(2) 教育委員会(3) 推薦委員会(4) 選挙管理委員会 5) 広報活動 (1) 県協会「きらめき」の投稿 (2) 支部広報誌「ふれあい」の作成 年1回発行

萩支部事業計画

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護職の連携強化 2) 地域活動を通して地域住民に対し看護協会の普及啓発を図り、あわせて健康向上に貢献する
支部集会	日 時：R8.7.29(水) 会 場：萩市地域医療連携支援センター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 一般教育研修 (1) 支部研修会 1回 (2) 三職能合同研修会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 (1) 県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 看護の日及び看護週間行事の開催 (1) 各施設で日程設定し実施 2) まちの保健室開催 10回 3) 国際助産師の日事業 萩ふるさとまつりのまちの保健室と同時開催 4) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業 (1) 検討会 4回 (2) 研修会 3回 5) 進路相談 (1) 各施設で実施 (2) まちの保健室での実施 (3) 中学生への職業講話(依頼があれば実施) 6) その他の事業 (1) 地域行事での救護協力
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1) 表彰候補者の推薦 2) その他の事業 (1) 交流・親睦会 2回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部役員会 8回 2) 支部委員会 (1) 職能委員会 4回 (2) 教育委員会 5回 (3) 推薦委員会 3回 (4) 選挙管理委員会 2回 3) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿

下関支部事業計画

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1) 地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する 2) 臨床現場の看護実践能力の底上げを行う
支部集会	日 時：R8.7.9 18:30～予定 会 場：済生会下関総合病院 3階講堂
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 一般教育研修会(教育委員会主催) 会員対象1回、会員・非会員対象1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業への協力 2) 看護職の人材確保・就業支援 (1) 看護の日記念イベント時、学生や未就業者に対し進路・就業相談を行う (2) 各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (3) 市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 (1) 各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2) 「看護の日」「国際助産師の日」記念事業 合同開催 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室開催：(下関地区・豊浦地区)6回 (2) 地域行事での救護協力(海響マラソン) 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会3回、研修会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 会員への福利厚生(職能委員会主催) (1) 研修会開催1回 (2) 会員交流会1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／ 法人)	1) 支部活動の充実 (1) 支部役員会7回 (2) 支部委員会 ① 職能委員会4回 ② 教育委員会4回 ③ まちの保健室委員会2回 ④ 推薦委員会2 回 ⑤ 選挙管理委員会1回 2) 支部組織強化 (1) 地域会議への出席(医療対策協議会、医療・介護ネットワーク、防災 他) (2) 広報活動 ① 県協会報「きらめき」への投稿 ② 県協会ホームページへの投稿 (3) 訪問看護ステーション協議会や看護学校、地域医療に携わる看護職、特に未加入 施設に研修会参加や看護協会入会を積極的に働きかける

令和8年度 職能委員会活動計画

1 保健師職能委員会

1 活動目標	1)保健師間の連携強化及びネットワークの推進 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3)会員増加の推進 4)多職種との連携強化
2 委員会開催	1)職能委員会6回 2)支部保健師職能委員との合同会議2回
3 活動内容	1)保健師の連携強化及びネットワーク推進 ①保健師職能集会の開催(6月) ②保健師職能交流会の開催(2月) ③支部委員との合同会議(10月、2月) ④会報「きらめき」やホームページによる情報発信 会報「きらめき」ひたむきな保健師掲載(年3回) ホームページの更新(年3回) 2)保健師の専門性を発揮するための資質の向上の推進 ①保健師職能交流・研修会の開催 ・地域連携と保健師に求められる役割等について ・他職種との合同研修、意見交換 3)会員増加の推進 ①保健師職能集会や交流会の開催 ②リーフレット・会員勧誘チラシ改訂版の活用 ③会報やホームページによる情報発信 4)多職種との連携強化 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築に向けたネットワークの構築 日本看護協会との連携 ①全国保健師職能委員長会出席 ②地区別保健師職能委員長会出席 ③在宅ケア推進委員会と3職能4委員会意見交換会の参加

2 助産師職能委員会

1 活動目標	1)周産期医療の現状と課題の把握 2)助産師の確保と活躍推進 3)母子のための安心・安全な地域包括ケアシステムの構築 4)3職能、4委員会との連携強化
2 委員会開催	1)職能委員会7回程度 2)支部職能委員との合同会議2回
3 活動内容	1)周産期医療の現状と課題の把握 (1)職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 (2)全国および中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、山口県の現状報告

	(3)保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出 2)助産師の確保と活躍推進 (1)母子のための地域包括ケア病棟の推進 ①ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営推進 (2)広報活動 ①イベント等での助産師の普及活動 a 看護の日・国際助産師の日 b いいお産の日 c ホームページ等へ記事投稿 ②PRリーフレットの活用 3)母子のための安心・安全な地域包括ケアシステムの構築 (1)助産師実践能力の強化 ①助産実践能力研修の企画・運営・評価 a 新人助産師研修6回 b 中堅助産師研修4回 (2)CLoCMiP® の導入・活用の推進 (3)助産師出向システムの推進と活用 (4)災害時の対応 ①周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてのタイムリーな情報提供、情報交換 4)3職能、4委員会との連携強化 (1)母子のための地域包括ケアシステムの深化に向けての、ネットワークの構築 (2)地域における看護力強化にむけた連携推進のための検討会への参加 (3)女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握
--	---

3 看護師職能委員会 I

1 活動目標	1)看護実践能力の向上 2)地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進 3)支部看護師職能 I 委員との連携強化 4)広報活動・会員増加の推進 5)日本看護協会との連携
2 委員会開催	1)職能委員会9回 2)支部看護師職能 I 委員との合同会議2回 3)看護師職能委員会 I・II 合同会議4回
3 活動内容	1)看護実践能力の向上 (1)看護職の生涯学習支援の推進に向けた活動 ・看護職の生涯学習支援に関する研修会の開催(9月) オンデマンド、活用事例紹介、グループワーク 2)地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進 (1)在宅ケア推進委員会及び3職能4委員会の連携強化 ・それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組み (2)看護師職能委員会 II との連携強化 ・看護師職能委員会 II との合同会議4回(5月、7月、10月、3月)、情報共有、意見交換 3)支部看護師職能 I 委員との連携強化

	(1)支部及び看護師職能Ⅰ委員との合同会議 2回(10月、3月) ①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能委員長会Ⅰの課題について意見集約 4)広報活動・会員増加の推進 (1)看護師職能集会Ⅰ・Ⅱ合同開催1回 (2)会報「きらめき」、ホームページによる情報発信 5)日本看護協会との連携 (1)全国看護師職能委員長会Ⅰ 2回 (2)地区別看護師職能委員長会Ⅰ 1回
--	---

4 看護師職能委員会Ⅱ

1 活動目標	1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 3)3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化 4)看Ⅱ領域の魅力発信及び会員増加に向けた情報収集・課題発見
2 委員会開催	1)職能委員会9回 2)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議2回 3)看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議4回
3 活動内容	1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 ・介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)開催 県内15施設の開催予定(8月～11月) 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 (1)看護師職能Ⅱ交流会の開催1回 (2)全国看護師職能委員長会Ⅱ 2回 (3)地区別看護師職能委員長会Ⅱ 1回 (4)看護師職能Ⅱ領域の看護職のマネジメントに関する課題解決に向けた検討 (5)看護師職能Ⅱの看護人材の確保に向けたさらなる情報収集と課題抽出 3)3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化 (1)3職能4委員会および在宅ケア推進委員会との合同会議1回 (2)看護師職能委員会Ⅰとの合同会議4回(5月・7月・10月・3月) (3)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議2回(10月・3月) 4)看Ⅱ領域の魅力発信及び会員増加に向けた情報収集・課題発見 (1)看Ⅱ領域の魅力とその発信についての検討 (2)看護師職能集会の開催1回 (3)会報「きらめき」、ホームページによる情報発信

令和8年度 常任委員会活動計画

1 労働環境支援委員会

1 活動目標	1)働き続けられる職場づくりを推進する 2)看護職の確保・定着等について検討する
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1)働き続けられる職場づくり研修会の開催 (1)心理的安全性の高い職場環境づくり研修会 (目的)働き続けることができる心理的安全性の高いチームづくりを考え、実践に活かすことができる (対象)チームリーダーをしている看護職スタッフ ※実習指導者等の役割を担い、管理者と一緒に自部署の課題・振り返りのできるリーダー的スタッフ (内容)心理的安全性の高いチーム作りについて 愉しく仕事をするために何をすればよいか 多様性を捉え、働き続けられるチームづくりとは など (講師)株式会社メディフローラ 代表取締役 病院経営アドバイザー 看護師 保健師 心理相談員 上村久子氏 (時期)9月30日(水) 10:00～16:00 (2)セカンドキャリア活躍推進研修会 (目的)セカンドキャリア世代の看護職の働き方について理解し、自身のライフスタイルに合った働き方を考え、いきいきと働くことができる。 (対象)セカンドキャリア世代の看護職 60歳前後の看護職(管理者、スタッフ問わず) (内容)将来の生活設計を考えるための年金制度について 高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドラインの概要について 生き活きとセカンドキャリアで活躍している方々の紹介 (講師)社会保険労務士、看護管理者、スタッフ、訪問看護等 (時期)12月～1月の間で調整 13:30～15:30 2)ナースセンター事業への意見・提言 (1)2026年地域の実情に応じた看護職確保推進事業(日本看護協会委託) ①領域別・地域別偏在是正に向けた取り組み(セカンドキャリア活躍推進事業) ②看護補助者の確保・定着推進事業について ③看護学生・潜在看護職を対象としたNuPSの周知について

2 看護制度委員会

1 活動目標	1)准看護師が継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるよう支援する。 2)臨床・教育・行政との連携強化により、看護基礎教育の充実を図る。
2 委員会開催	6回
3 活動内容	1)准看護師スキルアップ研修・情報提供・交流会の開催

	准看護師がスキルアップに繋げていけるような研修会等を企画運営する。 2)看護基礎教育を考える会の開催 看護基礎教育の現状や課題について、理解を深めるための研修会等を開催する。
--	--

3 教育委員会

1 活動目標	(1)令和8年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営する。 (2)本協会の重点方針を基に会員のニーズおよび令和8年度研修会の評価をふまえ、看護職の更なる実践能力の向上につながる令和9年度教育研修を企画・立案する。
2 委員会開催	10回程度
3 活動内容	(1)教育研修の広報と実施 一般教育研修 27コマ 28日 ①新人研修 2回 ②専門的・倫理的・法的な実践能力 1回 ③リーダーシップとマネジメント能力 7回 ④専門性の開発能力 4回 ⑤臨床実践能力 ア、ニーズをとらえる力 4回 イ、ケアする力 7回 ウ、協働する力 1回 エ、意思決定を支える力 1回 (2)研修の評価と次年度研修計画立案 ① 令和8年度の教育研修の運営・評価 ② 令和9年度の教育研修計画の企画・立案 (3)その他 研修がより有意義に、受講者がより参加しやすい形で受講できる研修方法を模索、検討する。

4 学会委員会

1 活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興とそれに連動した看護の質向上を図る。
2 委員会開催	6回程度
3 活動内容	1)第26回山口県看護研究学会の開催 2)第26回山口県看護研究学会に関する冊子の発行 3)山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討

5 認定看護管理者教育運営委員会

1 活動目標	1)カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2)認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と、委員会活動の推進
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1)令和8年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R8.4.16～R8.9.4 32日間 2)令和8年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 募集期間：R8.4.17～5.12 募集定員：80人 3)令和8年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R8.10.22～R8.12.24 21日間(特別講義1日含む) 4)令和7年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 研修日：R8.7月中旬 5)令和8年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 研修日：R9.3月上旬 6)各研修課程の教育運営と、受講者状況の確認 7)令和10年度より開始する「看護管理研修(付加研修含む)」、令和11年度より開始する「新たな認定看護管理者教育課程」の開講に向けた準備、検討 (1)現行の認定看護管理者教育課程研修終了における、履修時間不足者の救済措置検討 (2)「看護管理研修(付加研修含む)」プログラム認定の申請(受付期間：R8.11.1～12.15) (3)「看護管理研修(付加研修含む)」eラーニング内容の事前視聴(事前配信時期は未定) (4)「看護管理研修(付加研修含む)」の演習プログラムと実施期間検討 (5)認定看護管理者教育運営委員会規定等の改正

6 広報委員会

1 活動目標	1)会報「きらめき」を発刊し、県内各支部や委員会、施設などの取り組みを情報発信し、魅力を伝えていく。また、会員が必要とする内容を検討し紙面の充実をはかる。 2)看護協会の認知度を高めるためホームページの充実と、協会員の増員につながる広報活動を推進する。 3)日本看護協会や、各施設の新たな取り組み等に対し、時宜を得た広報活動を行う。
2 委員会開催	5回
3 活動内容	1)「きらめき」発行を年3回行う。 (1)発行時期：6月、10月、1月(会報号165号、166号、167号) (2)実施内容 掲載内容の企画・紙面形式の検討、原稿依頼、原稿の編集・校正、紙面構成の検討、印刷会社との打ち合わせ等 2)ホームページの充実 プログの更新、SNS活用のための協議 3)各施設の新たな取り組み等の情報収集と発信

7 推薦委員会

1 活動目標	1) 役員(外部監事を除く。)の改選に係る候補者の推薦 2) 職能委員会委員、常任委員会委員の改選に係る候補者の推薦 3) 日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦
2 委員会開催	3回程度
3 活動内容	1) 第1回推薦委員会 (1) 推薦委員会の任務 (2) 委員長の選出 (3) 各委員会の活動内容 (4) 役員選挙等日程 (5) 役員等の立候補、選挙及び兼職 (6) 推薦委員の改選 (7) 職能委員及び常任委員の選出 2) 職能委員及び常任委員の選出に係る各施設等への依頼並びに選出報告 3) 第2回推薦委員会 次の役員等の候補者名簿の作成 令和9年度理事・幹事の改選、推薦委員会委員の改選及び職能委員会・常任委員会委員の選任、令和10年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出

8 医療安全推進委員会

1 活動目標	1) 医療安全管理者の資質向上の推進 2) 医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援 3) 医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進
2 委員会開催	6回程度 (うち1回は圏域代表を招集して開催する)
3 活動内容	1) 医療安全管理者スキルアップ研修の企画・運営・評価(年1回) 2) 山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価 医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援 (1) 圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画 圏域代表合同会議(年1回) (2) 現任の医療安全管理者(医療安全対策加算の届出は不問)を対象としたネットワーク構築を目的とした企画 情報交換会(年2回) 3) 県協会広報誌「きらめき」による医療安全情報の発信(年3回) 4) 「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の普及活動 ・ハンドブック内容の見直し ・ホームページの掲載アナウンス・チラシの配布 5) 医療安全管理者養成研修の企画・運営・評価

9 災害支援委員会

1 活動目標	1)災害支援活動体制の整備・充実 2)災害支援ナースの育成及び質向上のための支援 3)一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力の向上
2 委員会開催	6回
3 活動内容	1)委員会内容 (1)災害支援ナース養成研修(集合研修)の内容の検討 (2)災害支援ステップアップ研修の内容の検討 (3)山口県総合防災訓練におけるWeb展示・広報の内容の検討と準備 2)研修開催内容 (1)災害支援ナース養成研修 災害編集集合研修 1日間 (2)災害支援ナース養成研修 感染症編集集合研修 1日間 (3)災害支援ナースステップアップ研修 1日間 (4)意見交換会(災害派遣があった場合) 3)その他 (1)山口県総合防災訓練 (2)関係機関、団体との協働、協力

10 在宅ケア推進委員会

1 活動目標	1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取組 2)在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進
2 委員会開催	5回
3 活動内容	1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取組 (1)「情報提供書の書き方ガイド」の活用促進 令和8年度は、「情報提供書の書き方ガイド」の周知と活用を促進するための活動を行い、令和9年度に活用状況等を調査する。 ・各施設へ「情報提供書の書き方ガイド」を配布 ・ホームページにより「情報提供書のガイド」を広く情報発信 ・「情報提供書の書き方ガイド」の活用を促進するための研修会の開催 (2)在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進 病棟看護師が在宅生活をイメージできる仕掛け作りを検討、実施する ・情報交換の機会として、研修・意見交換会を開催

報告事項3 令和8年度 収支予算書

(別冊)